寫眞說明

(右)霞ケ岡に聳え立つ故後藤新平伯の銅像と家族嗣子一藏伯、令孫、鶴見祐輔氏夫人靜子さん、並に製作者朝倉文夫氏(左)除幕式參列の太田關東長官、仙石滿鐵總裁其他(下)は銅像見物の人々

けふ故後藤伯の銅像 嚴かに除幕式行はる

黃海の波を遙かに俯瞰する 颯爽たる見事な風貌

=風光明眉= な星ケ浦、黃海を眼下に見る霞ケ丘に建設された初代滿鐵總裁故後藤新平伯の銅像除幕式は午前十時號砲煙火一發を合圖に參列者の着席があつて藤根滿鐵理事の開會の挨拶あり而して銅像を覆ふ幕が風のため煽られる關係上順序を變更して、銅像製作者朝倉文夫氏に手を引かれた嗣子一藏伯の長女利惠子さん(六つ)の可愛い手で銅像の天邊から垂れてゐる紅白の紐が引かれるや同時に紅白の幕が切つて落された、黃海を俯瞰する新平伯の銅像が仰がれたその瞬間に

=參列者は= 期せずして拍手を送つたが快晴な秋の光に反映した伯の顏はさながら生けるものゝ如く而も實に莊嚴なもので參列者は伯の偉大なる人格と朝倉氏の技神に入る藝術とに暫しは陶醉して一語もなかつた、建設委員長前滿鐵理事長國澤新兵衛氏の式辭および事業報告後神官の嚴肅な御祓ありて國澤氏、嗣子一藏伯、製作者朝倉氏の順で玉串奉奠、太田關東長官、仙石滿鐵總裁、大連華商公議會長張本政氏(副會長代讀)滿鐵社員會幹事長市川健吉氏の

=祝辭朗讀= 田中清次郎氏の祝電(水野錬太郎、松岡洋右、永田秀次郎その他多數)朗讀あつて嗣子一藏伯の謝辭、藤根理事の閉會の辭で十一時式を終り銅像下で立食の宴あり午後零時散會した因に式場には太田關東長官、仙石滿鐵總裁、滿鐵社員會その他多數の花輪が飾られ遺族としては嗣子一藏伯のほか長女利惠子孃、鶴見祐輔氏夫人令孃が列席し建設委員長國澤新兵衛氏、世話役田中清次郎氏、上田恭輔氏その他滿洲在住知名士數百名であつた

十六尺の巨像 臺石は二十四尺 題字は齋藤子爵

銅像は十六尺、臺石(岡山産御影石)二十四尺、臺石の裏面に刻してある題字は朝鮮總督齋藤子爵、撰文館森鴻氏、書瀧谷正美氏で何れも後藤伯に縁故深い人達である銅像周圍の壯き御影石は總て岡山産で銅像を中心とした造園は滿鐵地方部の安藤公園係主任の設計監督、園內の黑御影石は萬家嶺産で水の乏しい滿洲に水をあしらつて池や噴水、溪流等を施設されたことは大連市民にとつて最も喜ばしいことであらうといはれてゐる

在滿邦人は存外萎縮 三重縣議員一行の視察談

三重縣々會議員一行十三名は滿鮮各地を視察し十二日午前十一時出帆の大連丸で青島に向つたが、大野團長は語る

滿洲の產業狀態を視察して週りましたがもつと盛んなものかと思ひましたが案外邦人は萎縮して居る樣に感じました當地は內地に比して勞銀も安いんですから各種の事業にしろもつと盛大にやつていけるだらうと思つてゐたのです、事實、紡績業にしろ本國では勞賃や何かの關係で此頃企業家は損をしてゐますが植民地の勞賃の安いところは漸く儲けてゐる位ですからこれ、私は資本家が當地の勞働狀態なんかを調査するより勞働者側がもつと進んで調査し自覺して貰ひたいと思ひました

市役所主催の體育ボール大會 學生も先生も大元氣 けふ午前中の成績

大連市役所主催の體育デーの催したる大連市民體育ボール大會は十二日午前八時より大連運動場において擧行された、定刻田中市長開會の辭を述べ直にフイールド內に設けられた十二面のコートで競技されたが參加チーム三十六チーム總出場人員六百名の大多數さてゴッタがへす樣な賑はひ、毛色の變つた出場チームは大連醫院の先生達北川醫學士を主將に應援の看護婦さんも黃色い聲で汗びつしより その他日本橋小學校、一中、二中彌生の先生達も生徒達の向ふをはつて大元氣、ただしプレーは餘り香しからず却つて生徒達にコーチされる始末、一中對大連商業等の好試合で喚聲わき體育デーの催しとして甚だふさはしい、午前中の戰績左の如し

◇一般の部

第一回戰

- 第二埠頭 2(21—15、21—7)0 瓦斯會社
- 滿鐵販賣部 2(21—7、21—17)0 滿鐵經理部
- 理學試驗所 2(21—13、21—16)0 滿鐵用度
- 大連醫院 2(21—16、21—11)0 第一埠頭
- 彌生高女職員團 2(21—14、21—14)0 伏見臺小學職員團

◇一般女子之部

- 滿鐵婦人協會 2(21—20、9—21、21—18)1 理學試驗所女子

◇學生男子之部

- 第二中學A組 2(21—5、21—6)0 第一中學A組
- 工專 2(21—17、21—11)0 第二中學B組
- 大連商業 2(21—13、21—12)0 商工學校A組

◇學生女子之部

- 彌生高女A組 2(21—13、21—17)0 羽衣高女C組
- 彌生高女D組 2(12—21、21—15、21—20)1 彌生高女C組
- 彌生高女E組 2(21—9、21—13)0 羽衣高女A組

第二回戰

- 大連醫院 2(21—10、21—10)0 線路會
- 第二埠頭 2(21—14、21—12)0 理學試驗所
- 彌生高女職員 2(21—19、21—20)0 大廣場クラブ
- 滿鐵販賣部 2(21—12、21—15)0 黃塵クラブ
- 滿鐵審撰 2(21—15、21—5)0 鐵道審査
- 二中職員團 2(21—15、21—15)0 日本橋小學職員

◇女子學生之部

- 彌生高女B組 2(21—13、21—10)0 羽衣高女B組

故後藤新平さんを語る(C) 二十年も三十年も先の見える偉人

一度び仕事を人に任せたなら決して干渉をせぬ太ッ腹の人

上田恭輔氏談

◆…私が後藤 伯を知るやうになつたのは洋行中の明治卅四年ごろからでそれから伯の晩年まで公私共に色々と關係がありましたので隨分長い間です、だから話と言へば限りがありませんが結局廿年も卅年も先の見える偉い人でした、現今の滿鐵設立の計畫だつて日本が新義州を落した時早くも伯はそれを計畫してゐられたやうです、その後奉天陷落と同時に伯は來滿、親しく滿洲視察を遂げられたのです先づ伯の滿鐵での事業中で最初の大工事は鐵道の廣軌式改造でしたが、その前に伯は事業資金として英國で公債二億圓の募集に見事成功百何十臺といふ機關車、何千臺といふ貨車、客車等計五千萬圓もの大注文を米國と契約し在任中にこの仕事を完了されたのです。

◆…その時に 外債公債を引受けた英國から「なぜ英國に注文してくれなかつたか」と强硬に抗議を申込んできましたが、その時の伯の返事もこれだけの大量の注文を一時に引受け早速間に合はすことの出來るのは米國だけだからと極めてはつきりしたものでした、その後は小口でもあつたので英國に注文しましたので現在滿鐵の機關車等は英米兩式ともあるわけなのです、その鐵道建設以前に最初に設立されたのがホテルで大連、旅順、奉天、長春の四ケ所ですがその計畫には佐藤安之助君が與つてゐます。

◆…何分當時 は創業時代でありましたし滿鐵の地方部長が關東都督府の警務總長、副總裁が民政長官、總裁が關東都督府顧問と言つた風に殆んど一體と言つた形であつたので仕事等もドシ〳〵運んで行つたものでした、然し現に角創業時代に比べますと今日の發展には驚かされます、滿鐵設立前は市役所から大連神社の邊まではづつと川で今の敷島町は川を埋め立てゝ造つたものです。此のヤマトホテル等は小山でした、また日本橋からこちら(ヤマトホテル)にかけては一向に人が住まはないので伯は色々考えたすゑ當時ロシヤが學校敷地として基礎工事だけを終つてゐた淋しい人里離れた處に滿鐵本社を作られたのです、それが現在の滿鐵です元來ロシヤは人口四萬を標準としてダルニー市を建設したのですが日本は最初から四十萬人を標準としての計畫でしたからこの點日本の方が先見の明があつたと言へます。

◆…また戰爭 直後ダルニー市の建物として殘つてゐたのはロシヤ町の一部の建物だけでグレート大連の建設に對しては日本はローヤから何等の恩惠も受けてゐないと斷言できます、伯は何かと言へばすぐ仕事にかゝらなければ承知出來ない人でした、自分が言ひ出せば早速仕事に取りかゝる、また人に言ひつけたり人が言ひ出したことを「うん」と言へばすぐにその人にやらせた人でした、その代り一度或一人の人にやらすと決めたら總てをその人に任し、信じて一口も差出がましいことを言ふ人ではありませんでした。

コロンビア號 目的地へ到着

【クロイドン十一日發電通】大西洋橫斷飛行に成功しシシリー群島トレスコに不時着したボイド大尉ハリー中尉のコロンビア號は十一日午後一時トレスコ發午後三時五十五分最後の目的地たるロンドン郊外クロイドン飛行場に着陸した

軍刀に お別れの會 けふ西本願寺で嚴かに執行

角切角欄紋入りの軍刀に絡まる征露役のエピソード、現在の持主近江町岩田千代松氏、陸軍省人事局長古莊幹郎氏等の熱心な努力が酬いられて、同軍刀の所有者であつた故吉村艮中尉の遺族吉村博氏が判明したので岩田氏は最近の繁忙通り綺麗にこれを遺族に引渡すべくそれに先だち十二日午前十一時より市內西本願寺において「軍刀にお別れの會」が催され併せて亡き吉村中尉の魂魄を慰むるところあつた、此の日山梨縣人會、廣島縣人會並に町內會初め岩井少將、麥田飛行場長、若月重議、大石良道普及會長を初め軍部關係並に新聞關係者等參列讀經燒香のうちに頗る盛に行はれた

日曜と秋晴れに煖房展賑ふ 會場は押すなく あすが愈よ最終日

本社主催煖房展第二日はカラリと晴れきつた秋日和と日曜日といふ良きコンデンシヨンに惠まれて朝から觀覽に押し寄せた人々で會場は賑やかさに充ち溢れてゐた、會場前には俥、馬車堵列を作り、會場附近一帶は百數十箇の煖房器が發散する放熱で陽春六月の暖かさ、殊に夫婦子供連れの觀覽者が多く二十幾軒の陳列を克明に廻り步いてアレヤこれやと研究し其場で簡單に冬籠りの仕度をすませてゆく手際よさだ、出品者が氣を利かした速製おしるこ、甘酒の燒立ては子供連れの觀覽者の大向ふ受けを得て模擬店は押すな〳〵の大繁昌振り、雜沓する人混みを分けて緩いテムポのビクターが流れる、こんな好晴もこの日曜日あたりが最後だらうが煖房展も明十三日限りで了る、最終日の賑はひが定めしと豫想される

十四小學校の陸上競技大會 十三日大連運動場で

大連管內十四小學校では來る十三日の戊申詔書下賜記念日に大連運動場で綜合陸上競技大會を催すことゝなつた、參加學校は各校の尋常科生徒のみで種目は五十米、百米二百米のランニング、四百米、八百米のリレー、走幅飛其他である、餘興競技は當日午前九時開始午後三時閉會すると

散步漫步の日和に どこも此處も夥しい人出

星ケ浦、電氣遊園、大連運動場等々

涼爽の秋も今日の日曜日が絕頂、肌觸りの快よさに捨て棄れたセルの袷も、ハイヒールで鋪道を高らかに踏む秋の洋裝姿も忍びよる初冬の氣配に脅かされる頃が近づいた、今日の日曜こそは逝く秋の送葬曲を奏るピクニック、散策、郊外漫步の千秋樂とあつて、市民の脚はひとりでに室內から戶外の陽光に吸ひ寄せられたやうだ、老虎灘、聖德街方面のモダン・バンガローから、さては星ケ浦邊の破風造りのドアから三々伍々家族を連れた勤め人を始め冬物の仕入れを濟ませた下町商家の着流し連がどれもこれも秋の最後の日曜を樂しまうと電車で徒步で、自動車で、思ひ〳〵の方面に出かけた、錦紗の白素を碧の冴えた汀に敷つめた星ケ浦一帶の白沙長汀は後藤伯銅像除幕式歸りの人々や、若さを海面一ぱいに撒き散らす美しい一對の畔で暢びりした散策氣分を漂はせ愛嬌者の動物で人氣を呼んでゐる電氣遊園には良きパヽとマヽの片腕を占領した坊やゝ、孃ちやん連で雜ないアトモスフイアーを浸み出し早冬木立の寂しい裝ひを覗かせてゐる、中央公園の樹林には秋の繪畫に傾心する風流畫士の影がちらほら、魅けて秋の點描を極彩色な繪葉に觀賞する人々の群は、秋風に乘つて金州、旅順のドライヴにエンジンをひゞかせた、西郊大連運動場でも戶外スポーツの最後の閃光を今日一日に迸しらせ、體育ボール大會、蹴球戰等に欣躍の秋の華々しい光輝を放つてスポーツファンに本年最後の呼掛けをしてゐる等々、澄切つた晴朗の大氣と袷着の懷しさをいつくしむ人出に今日の日曜は賑はつてゐる

大奮發の親玉

目下募集中の「評判講談全集」は今や天下の大評判!これが一圓とは實に安いと見る人悉く驚嘆!申込金不要!誰方もすぐお申込み下さい。早いが勝です。

大連工場の火事騷ぎ 大事に至らず

十二日午前九時五十分ころ市內沙河口霞町滿鐵大連工場內動力室にある送風器タンクが突然過熱したため室內にある鐵管安全瓣が破裂して同所より一齊に火を吹き出し附近にあつた防寒具に引火したが從業員の必死の活動によつて大事に至らず直に消し止めたが、十二日は日曜日にもかゝはらず作業中の上に同所は工場內の動力送電部で各作業所の中心部をなくして居るため一時はなか〳〵の騷ぎであつた、原因は目下詳細取調中

やなぎ會溫習 會日延べ

大連劇場における大檢北村席やなぎ會溫習會は十一日の初日以來大向ふの人氣を煽り立て、二日目三日目共に滿員札止めの盛況を呈し不景氣風を吹ッ飛ばすほどの凄じさだつたが、此好成績と一般の希望によつて打上げ豫定期日を一日だけ延ばし明十三日を千秋樂にした、當日の出しものは初日以來一般觀客から賞讃を博したものゝみの拔萃上演でプログラムは左の通りである

▲三番叟▲新麗の子▲雀追ひ▲唐人お吉▲藤娘▲玉兎▲都鳥▲多摩川▲吉野山▲聚樂邸▲三條大橋▲奴道成寺▲民謠、童謠(前日に同じ)

青訓軍勝つ

大廣場青訓對埠頭築港所スポンジ野球試合は午前九時から大廣場校庭に開始八A對六にて青訓軍辛勝す

127

社說

中國國民黨の善後と共產黨

[illegible]

その母體として單一政黨たる國民黨から生產せられてゐることになつてゐる。恰もロシアのソヴイエト政權が第三インターナショナルを背景として生產せられた如く支那の國民政府なるものも國民黨を母體として政權を構成し國民黨の主義方針の下に政治政策を實行すべきことを理想としてゐるのであるが實際問題として支那の場合、果して如何の程度に國民黨と國民政府との間に因果關係があるであらうか甚だ疑はしいものがないでもないのである。現に國民黨といへば今日といへども汪精衛氏を首領とするものの如く蔣介石氏は單に國民政府の裏制官といふやうな觀があり、その結果として先般來の反蔣聯盟といふやうなものが提起されたのではあるまいか。されば今日、若し張學良氏から國民黨の問題を提案するにおいては蔣介石氏は今情は汪氏と同じく國民黨を彈壓することに大に贊成するであらうが表面上は國民黨の一員を以て任ぜざるを得ざるが如き矛盾の場面を展開するであらうとさへ推斷されてゐる程である。

それは兎も角として支那國民革命の理想と支那の現實とに立脚せんか、國民黨の問題が提起せられた場合、張學良氏は勿論、蔣介石氏とても相當、苦しき立場に立たしめられることを思はしめる。しかのみならず蔣氏らが右傾すればするほど、支那の實情に卽して獨裁專行を敢てすればするほど責任者としての政權側は益々右傾し、この政權に彈壓されるところの國民黨員は汪氏らを首めとして愈々左傾せざるを得なくなるべく結局、左右兩極端に對立するやうなことになり國民黨の存在を無意義ならしむるであらうことを思はしめるのである。これ支那の實情よりして全く已むを得ざるところとすべく、果して然りとせば吾人は寧ろ蔣介石氏に對し張學良氏と同一立場に立ち國民黨を以て母體として生產するものなりとの虛僞の法則から脫出せんことを要望するものなると同時に蔣張兩氏らが今日、共產黨と稱せられるところの地方不逞の徒を徹底的に彈壓せんことを希望するものである。

江西、湖南地方を根城として蜂起した共產軍なるものは如何なるシテ關係によつて一時、跳梁を極めたものであるか、それが餘燼は容易に一掃し得ぬことを思はねばならぬ。機會さへあらば何時、勃然として長沙や九江や、または武漢の地を攪亂せぬとも限らぬ。殊に馮玉祥氏の勢力が再び起つ能はざるが如きに至らんか、赤露の魔手が如何なる方面から煽動し來らぬとも限らぬのである。すくなくとも目下、莫德惠對カラハンの露支正式會議に支那の政局の動きが如何に影響するかを思はゞ思ひ半ばに過ぐるものがあるであらうと思ふ。右は長江沿岸における蔣氏の繩張內のことであるが張學良氏の繩張內たる間島方面にあつても例によつて共產[illegible]

[illegible]なして手のつけられぬ[illegible]ことを覺悟せねばなら[illegible]これらの意味におい[illegible]張兩氏が徒らに勝利的[illegible]の甘酒に醉ふて脚下に問題の發生しつゝあることを忘れざらんことを要求する。

あす省議に提出する 主計局の新豫算大綱

既定經費の節約一億七千萬圓 新規要求は一切削除

【東京十二日發電通】[illegible]

財政計畫案

一、公債は一般會計にては一切行せず

二、新規財源は恒久的のものは然無い

三、國庫剩餘金は百五十七萬圓[illegible]とまりこれは追加豫算財源[illegible]一部として保留せねばならぬ[illegible]明年度も剩餘金は見込めぬ

四、一時的新規財源として明年度使用し得るは煙草元賣捌[illegible]による延納金の二月分收入約四五百萬圓あるがストック、買[illegible]補償その他に當てるので殘る[illegible]千六、七百萬圓であらう

五、經常歲入にて一億四千萬圓の減收を來すので一律に物價[illegible]落又は不良事業の理由により大削減を加へる

六、このため繼續費中比較的重要ならざるものは打切りその他は繰延をなす

七、繼續費外經常費は思ひ切つた[illegible]

歲入見積

[illegible]

既定經費節約

[illegible]額一億七千萬圓[illegible]準(總額二億一千四[illegible])一割五分乃至二割節減[illegible]繰延(その他の物件費[illegible])一割五分乃至二割五[illegible]補助費獎勵費九千餘萬[illegible]節減(俸給費等三億五[illegible])四分節減(旅費手當三[illegible]圓)一割節減(調查費[illegible])一割節減(機密費)二[illegible]事務費)五分乃至八分節[illegible]皇室費その他純粹の[illegible]除きその他は何とかし[illegible]費用につき存在理由薄弱なものは中止打切をなす

新規要求

一、法律に伴ふ自然增年度割增加費上の經常費等眞に已むを得ざるものは出來る限り削減して承認す

二、純然たる新規要求は一切削除し承認されるものは國家賠償法施行費、地租法施行費等に過ぎぬ

三、この結果承認されたるものは僅かに三千六、七百萬圓にとゞまる

官民製鐵業の合同計畫具體化す

來週合同案大綱決定

【東京十二日發電通】八幡製鐵所を中心とする製鐵大合同案は產業審議會小委員會にて可決され總會通過の見込も立つたので官民製鐵業者を全部網羅する鐵鋼協議會は來週中幹事會を開き大合同案の大綱及新會社の資本金、合同參加會社の負債整理及資產評價等に關する原則樹立につき意見交換をなし更に大合同計畫進捗につき協議の豫定である

八幡鋼材先物値段

【東京十二日發電通】八幡製鐵所の鋼材十一、十二月渡し先物據下値段は先物協議會にて東京、大阪兩者に値段の懸隔あつたゝめその決定を一任された製鐵所にて市場の情勢に鑑み左の如く決定された

鋼ベース物、丸耗物共に六十五圓、アングル六十七圓、鋼板ベース物七十圓 右の內鋼板は丸鋼三圓、アングル四圓なるが十月渡し先物値に比すれば丸鋼十二圓、アングル十圓、鋼板十三圓の引下げ

鐵關稅の引上論漸く有力となる

當業者の要求を至當とし 商工省當局が支持

【東京特電十二日發】大藏省の關稅調查幹事會は最近諮問事項中解決未了の鐵及び白熱電燈線に關する審議を行ひつゝあり鐵關稅については一般當業者の贊否の意見をも徵しつゝあるが、從來この問題は製鐵業者と鐵工業者の利害の衝突及び同事業に對する **國策上の** 關係など極めて錯綜した事情の下にあり大藏當局の一部には滿鐵並に本溪湖製鐵事業に對する補給金の關係と井上藏相の年來主張とに鑑み結局鐵關稅引上げは不能に終るべしとの觀測が有力に行はれてゐたのである、然るに最近に至り一般經濟界の推移に鑑みて政府は從來の態度を改めて當業者の要望を容れ關稅引上げにつき考慮するに至るであらうとの觀測が有力筋において行はれるに至りその **成行きを** 注目されてゐる 卽ち從來の引上不可能論の論據は政府は製鐵事業に對する國策上から滿鐵と本溪湖にある大倉組の製鐵事業に對しては輸入稅を免除し得ざる代償として右に該當する金額を補給して來たのであり今後もし輸入稅の引上げを見るが如き場合は政府の根本方針の變化せざる限り關稅率の引上げに比例して補給金の增額を必要とする譯であるが近年國家が極度に窮乏し財源頗る逼迫せる折柄であり井上藏相從來の自由通商主義に鑑みるも到底實現覺束なき問題とされてゐたのである 然るに金解禁後の財界の推移は井上藏相が極めて樂觀して事業界に對しても人爲的救濟策を一切不必要とせる當初の豫想を **全く裏切** り產業界の各方面に恐慌狀態を現出し到底放任を許さざるに至つたので先づ綠價補償法の發動においては藏相は從來の態度を變へしたが更に產業擁護につれて金融機關に基く事業界の不安を除へられるや興銀を起たせてこれが救濟に當らしむる外日銀の金利引下げなど矢繼早に救濟手段に出づるに至つたことは井上藏相が如何に財界の推移を觀取するに至つたかの極めて有力な證左であるから關稅についても從來とは意見を異にする所あるべく特に商工省內には有力な **引上論が** 既に存在してゐるのであるから或は當業者の要求が容れられることにならうも知れぬといはれてゐる

本年の對外貿易不振の原因

入超二億圓を豫想

【東京特電十二日發】本年の對外貿易狀態は一、二の兩月は著るしく好轉したがその後三月には早くも惡化し四月は稍好轉したが五月以來またく全國總體步調に入り下半期 **出超時代** に入るや昨年に比し頗る惡化してこれがため年初以來十月上旬までの累計に至つては昨年同期間に比し遂に八百餘萬圓の入超增加となつてゐる、卽ちかく不振狀態に陷つた原因は

一、昨年上期に比し日本の物價は崩落したが地方爲替の回復と物價の崩落の結果國際的にわが物價が割高になつて來たこと

二、昨年下半期の貿易好轉は金解禁見越しのための見越急ぎに過ぎず本年はそれがなきこと、

三、本年上半期にはセメントその他海外に對するダンピングによつて國內の滯貨を減らさうとしたものでこの意味での輸出は振つたがその後高率操短と滯貨の漸減によつて減つて來たこと

四、支那市場に對する英、獨の競爭が加はつて來たことなども爭はれぬ事實である、

故に今後も每月貿易尻が惡化することの避けられないことは當然で十月は恐らく二千萬圓餘の出超になるであらうが棉花の輸入が極度に遲れてゐるから十一、十二の兩月では恐らく若干の入超になるであらうと觀られてゐる、假りに十月中の出超と十一、十二兩月の入超とが同額であると假定すれば去る九月末までの一月以降 **入超累計** は一億四千一百萬圓であるからそれに本年中の朝鮮、臺灣の入超額を九千萬圓と見て加へるとこの兩地を含む本年の全入超額は約二億三千萬圓と見做される譯である、他方貿易外のわが受取超過勘定は海運收入、移民送金、北洋漁業收入などの激減のため大くく見る人でも八千萬圓以上を見込む人はなく悲觀論者はトンくであらうと見てゐる、從つて貿易の形勢が右の如くである限りわが財界のデフレーション作用は將來に向つて繼續するの外ないと觀られる

涉外事務の連絡は各省の諒解を得た

滿蒙諸問題に一般は冷靜なれ 昨日歸任に際し 木村滿鐵理事談

【東京特電十二日發】滿鐵理事木村鋭市氏は十三日神戶出帆のほんこん丸で歸任することになり十二日午後一時發の特急で夫人同伴西下したが氏は出發に先立ち左の如く語つた

仙石總裁に隨行して沿線各地の實情を視察する豫定であつたが病氣のため歸任が意外におくれた涉外事務も大分たまつてをるし、滿洲における **支那鐵道** その他についていろくな說も傳はつたりしてをるので早く歸つてみればならぬと思つてゐる、しかしこの頃の新聞に現はれてゐる支那鐵道に關する記事にはだいぶん不審に思はれる點が尠くない、滿蒙三線道に關し東北交通委員會とドイツ資本團との間に五千萬元の借款交涉が非公式に進行してゐるといふ說も果してその眞相はどうだらうか、ドイツに左樣な投資の餘裕があるかさうかも疑はしいがドイツならば支那に對しては治外法權を撤廢してゐるだけに他の國よりも比較的樂に話を進めることが出來るであらうし又投資の餘裕にしても必ずしも全然ないと斷言する譯にも行かぬからほんとの事は **調查して** みなければ判らない、尙他の觀測としてはアメリカ資本がドイツを中繼にして支那鐵道に投下されるのではないかといふ話も行はれてゐるやうだがそれはアメリカの對歐洲金融の實情を餘り知らぬものゝ想像ではあるまいか殊に現在アメリカのドイツに對する金融政策の如き英佛に對しても同じ遣り口ではあるが債權の回收を主要目的として投資し、資金回收の方法に對し常に全力を盡してをり、對獨投資の大部分は取れるだけ貸しては取り、取つては又貸すといふやり方を繰返してゐる、從つてドイツが **他に投資** する分まで貸してやるとも思へないし、又その必要があれば必ずしもドイツを通過せずともアメリカが直接支那に貸すといふやうなこともあり得るであらう、鐵道部長孫科氏の渡滿說もどういふ目的があるか知らないが未だ本人が赴滿してゐる譯ではないし、又必ずしも滿鐵その他が氣に病む程のことはなからうと思ふ、その他支那鐵道の諸計畫についてしばしば滿鐵の脅威云々といふやうな說が傳はることもあるが計畫が世評の通り進められるにせよ、進められないにせよいづれにしても早急に實質的に滿鐵の脅威を齎らすものだらうとは思はれない、常に **冷靜なる** 態度で實情はみてゐなければならぬが餘りに神經過敏になつて一部の宣傳や臆說などに惑はされ徒らに國際感情を惡化するが如きことがあつてはならない、お互に注意すべきことである、それよりも問題は滿鐵自身の內容をもつと實質的に良くし、その基礎を固めることに努めるのが最も必要であらう、その點では仙石總裁のやうな人物が首腦者になられることは何としても心強い、滿鐵も今や世界的不況、銀の暴落その他の原因で昨年に比し二千萬圓以上も減收を示さうとしてゐる際であるからこの際各方面の實情を **十分檢討** し內容の充實、基礎の安固に全力を擧げて努力する必要のあることがつくぐ考へられる、尙滿鐵の涉外事務に關する中央當局の命令方針が從來兎角聯絡統一を缺いでゐたるため滿鐵當事者としても非常にやりにくいといふことを豫て聞いてゐたから幸ひ自分は外務、陸軍、拓務などの各事務當局と心易い關係上その點便利で今度の上京中も充分諒解を得ておいた

三百萬石の買上と一億圓の融資要求

全國の大小地主が團結して 農村の窮境打開運動

【東京特電十二日發】農村の窮迫は愈々小作人、小農階級から大小地主階級に波及して來たが今回の米價下落はますく地主階級の窮迫に轉じ公課を收めれば手取り何物も殘らぬ實情にありこれが **窮境打開** 運動を起さむとする空氣は各方面に釀釀しつゝあつたが愈々地主階級の大同團結の機運熟し先づ大日本地主會を中心に農村振興會、東北十縣農政團體聯合會、月曜會(全國多額納稅者の團體)が中心となつて全國に分散する大小の地方地主團體を結成することになり來る十一月廿日から廿五日まで東京において常務委員會を開催、趣意書及會則などの具體的事項を規定し來春迄に全國農政團體聯合會なる名稱にて發會式を擧行することになつた、これがため **農村振興** 會の原、白石兩氏等は十一日濱口首相、町田農相、政民兩黨本部などを訪ひそれぐく陳情した、その主張する處は地主階級は小作問題にて小作組合方面から猛烈なる壓迫を蒙むり更に今や米を始め繭、蔬菜、木材、其他一般農產物の急激な暴落によつて極度の疲弊に陷り地價の下落甚だしきにも拘はらず租稅公課は好況時代と何等變る處なく土地を賣物はむとしても買手なき有樣で全國に亘り倒產する地主尠からず、明治十七年頃の農產物及び地價の大暴落と大中農沒落と一見相似たるものがあつて殊に農村における中堅農民の沒落は國家的に見て容易ならぬものがある、この際全國的に地主階級の鞏固なる團結を以て立たなければ沒落の他なしといふのであつて先づ當面の米價問題に對しては卽時三百萬石の買上げを斷行し更に一億圓見當の低資を融通して米價の激落を防止されたいといふのである、この他小作法問題、地租輕減問題等地主の廢同利害に基き頗る强硬なる態度にて立むとするものであると

支那の前途

奉天派出兵の目的 西北軍今後の行動

一記者

(上)

奉天軍關內出兵、北方政府の太原引揚げ等に次いで西北軍の總退却、南北戰の大詰めと、約八ケ月に亘つて戰鬪狀態に在つた支那時局は目まぐるしくも慌しいうちに急激な變轉を見せて漸く表面は一段落を告げんとするかの觀を呈して來たが、鄭州を引揚げた西北軍今後の態度、これと奉天軍との關係、閻錫山氏始め山西軍の善後問題、更にこれ等の諸關係と蔣介石氏今後の態度等、差し當り考へ得られる諸々の情勢のみについてみても今後の支那時局は從來よりも更に複雜化し更に大なる不安定な足場の上を進みつゝあることが看取される

◇

時には南軍を壓迫してゐた北軍が、かくもあつけなき敗退に終つたのは奉天軍が中央に加擔して關內に出兵した結果だとされてゐるのであるが、奉天軍をしてここゝに出でしめたものは何としても山西軍の濟南における敗退であり山西軍は濟南において殆どその主力の大半を失ひ爾後山西派として存立することは困難であらうとまで一般に考へられた、勿論奉天派は山西派に對してその危急を救つてやらればならぬ情誼を有ちもしなければ義理合ひも有たぬが、山西派が潰滅して南京政府の勢力が京津地方から近くは山海關にまでも延びろか、西北軍の勢力が京津地方に北進して來るかすることは奉天派にとつて重大事である、奉天派にとつて西北軍は尤ももたゞならざるところ、更に南京との關係に在りては所謂國民革命軍の北京占領以來易幟問題その他でさんざ押へつけられた苦い經驗を有する筈である、こゝにおいて奉天軍としては何とかして山西派を存立せしめるか、さもなくばせめて北京天津を自派の掌中に納めて對南關係において有力な發言權を留保せんとすることが最も緊要事となつて來た、卽ち山西軍の失敗が奉天派をして關內に出兵せざるを得ざるに至らしめたのである、これをいひかへれば、奉天軍の關內出兵はその裏面では中央擁護といつてゐるが、事實は西北軍を北支那に蟠居せしめざるがため、南京政府の勢力を黃河以南で喰ひ止めんがために在つたものである、こゝに今後の時局に對する重大性が潜んでゐる

◇

次は西北軍である、西北軍はさきに經濟問題による蔣介石氏の不公平の處置に憤慨して反南京の兵を起し、一度は敗れて潼關の奥に退かざるを得ざるにいたつたが、潼關以西は食なき土地であり、西北軍が活くるためには何としても潼關以東の地に踏み止まらればならない事情に在つたのと南京に對する消えやらぬ深き恨みとのために、遂に閻錫山氏とこれを共にして今次の反南京戰を起したものである、最近各地より達した電報によると西北軍は隴海線の堅固な陣地を有することをもつて重要視せられてゐた陣地を捨ててからその部隊を完全に退却せしめることすら不可能となり、一部は南軍に降り一部は南軍に改編され、一部が辛うじて鄭州より黃河を渡つてわづかに北上してゐる模樣であるが、西北軍のみは今日支那軍閥のどこにも見ざる勝れたる素質を有するもので、踏んでも蹴つても西北軍は依然として西北軍である、今一部改編や投降を見たのは止むを得なかつたかも知れないが、これによつて西北軍は潰滅し終つたものとは思はれない、さきに第一次の西北軍對南京軍の戰ひにおいて南京側に寢返つた韓復榘、石友三の兩部隊は今日南京に寢返つたことを如何に悔いてゐるか、韓軍の部內でも石軍の部內でも、今度の南北戰中に幾度かこのことが論議されて元の西北軍に歸順することが考へられたが、その都度兩軍とも、馮玉祥氏の嚴格さはむしろむごたらしいものがあり如何なる時、如何なる條件をもつてしても、ひと度裏切つたものを容れるやうなことはあり得ないといふのが大多數の意見であつたやうだ、而してこれ等兩軍の將卒はともに今更元の西北軍に歸り得ざる不遇に泣いた のである、外電によると一部鄭州より黃河を渡つた西北軍は黃河に沿ふて一部は陝西に一部は山西に踏み止まるべく西進してゐるといはれてゐる、恐らく西北軍は今後暫くは陝西から山西南部にかけて踏み止まり、西北軍としての勢力の保存に努めるものとみられる、これが今後の時局に對する第二の癌である

反蔣派通電の內容

公平適當なる辦法によつて 和平の實現を期待す

【北京十二日發電通】閻、汪、馮三氏の和平通電左の如し

昨秋末內戰又起り國家崩壞し人民塗炭に苦しむ、その原因は蔣介石の個人獨裁に在り、國民會議實現、約法制定、全國代表大會召集の三點は黨を整理し國家統一を圖るため絕對條件となす、余等これを屢々いふも効無く遂に兵亂を開くに至る、國家人民も損失犧牲計るべからず、張學良の和平通電發出以來時局の轉途初めて曙光あり、最近蔣介石の通電を見るに前記三點に對し等しく服從を表示す、余等は學良の和平主張に贊同しその實現を促すべく既に前線各軍に一齊に黃河北岸に撤退を命じ停戰を實行して和平解決を待つに至る、軍事上の善後處置も公平適當の措置あつて始めて安樂に歸すべし、願くは學良先生および國內見達の士、和平會議を發起して公平の方式により和平辦法を決せんことを、余等三名は上述の主張にして貫徹せば卽時引退すべきなり、誠意を以て告ぐ

陸相結局辭任か

政府も承認する模樣

【東京十二日發電通】宇垣陸相は手術後經過良好に百日に垂んとしてゐるが、手術口の癒狀態依然遲々として當時より良くならずこのまゝでは來月初めの豫算閣議や陸軍特別大演習は勿論或は五十九議會の開院式にも間に合はぬのではないかと見られてゐるが宇垣陸相は病狀が今日までの經過で今後も推移するものとせば自分として辭するさ否とにかゝはらず結局辭任を申出づる外ないものとされてゐる、而してその時期は早くて豫算閣議直前遲くて議會開院式頃と見られてゐる これに對し政府としては目下格別に留任を引留むる必要はないから恐らくアッサリとこれを承認するであらうと察せらる

南京火藥庫爆發

衛隊の大半は慘死す 共產黨員の仕業か

【南京十二日發電通】南京郊外の國民政府軍械彈藥庫は昨夜十時一大音響と共に爆破し衛隊の大半は卽死した、原因不明なるも共產黨の仕業の見込みで附近は戒嚴令布かれてゐる、損害約五百萬圓の見込み、この爆破のため南京、上海間の電信電話は一時不通となつた

何成濬氏引揚

【南京特電十二日發】昨十一日午後一時四十分何成濬氏は鄭州から飛行機で第九師長蔣鼎文氏を隨へて慌しく漢口に歸着した、留[illegible]

中谷局長東上 來る廿七日頃

關東廳中谷警務局長は奉天總領事館と事務打合せのため十二日夜北行十四日歸任の筈であるが、本月廿七日頃の便船にて豫算說明其他用務のため上京の豫定である

蒙古產の羊毛でスコッチ地製織

內地當業者が試驗

滿鐵は現在蒙古人が食料として使用してゐる蒙古羊の羊毛の使途擴張について永い間種々研究をつゞけてゐるが、今回愛知縣尾張染織試驗場から非公式に滿鐵に對し蒙古羊の毛をスコッチ物の洋服地程度に使用出來るかどうかを研究したいから蒙古羊毛を提供されたい旨申込んで來た、元來內地では滿洲產の羊の細い羊毛から織るサージ物の毛織物は可なり良質なものを出してゐるが、太い羊毛から織るスコッチ織物は未だ優良品を出す程度までには至らず、今回もしこの尾張染織試驗場の研究が完成されれば斯界に益するところも非常に大であるとし滿鐵の關係方面も大乘氣の模樣で、もし正式に同場よりの申込があれば早速要求に應ずるであらう、因に蒙古羊毛がスコッチ物の研究用として問題視されるに至つたのは同羊毛が太いがためではあるが、蒙古羊毛は「さし毛」の多いことが缺點とされその研究の結果は注目に價する

わが紡績業者が支那內地へ進出

各種の有利條件に

【東京特電十二日發】我國紡織會社の支那內地における紡織業は現在において總錘數は百四十八萬九千三百六十、織機一萬一千四百六十七臺に上つてゐる、これら紡織業者中、鐘紡、東洋紡、豐田紡の各社は昨年より本年にかけて約十三萬錘、三千織機を有する在華紡織工場の **建設に急** いでゐる、卽ちこれによつて我國紡織會社の在華工場は近々百六十萬九千餘錘、織機一萬四千三百餘臺に上るわけであるが、これら諸會社の外內外綿を始め鐘紡も更に支那內地に紡織工場の新設を計畫してゐるから在華紡績の勢力は今後益々增大すると觀られてゐる、かくの如く我國紡織會社が財界不況の波濤を乘切つて支那に資本輸出をなし紡織事業擴張を行はむとする原因は、銀價暴落による華人勞働者の賃銀の低廉、深夜業の自由、關稅自主權の見越のついたこと **綿製品の** 支那內地における需要增大、[illegible]に依る輸入資本の保護、內地紡績業の行詰り等に在華紡織が幾多の有利なる諸條件を具備してゐることが原因で斯業者の在華工場擴張は各方面から注目されてゐる

シンプソン氏重態

【天津特電十二日發】シンプソン氏は引つゞきドイツ病院で治療中だが頗る重態で主治醫も施術の方法なきに苦んでゐる、氏も漸く覺悟するところあり親友ファガソン氏を招き遺言を口述して了つた後余は在支二十餘年著述を生涯としたが一として支那のために謀らざるはなくために英國及その各友邦に罪を求めたが今や支那の事務官として支那人に狙擊さるゝとは如何にも殘念至極であると語つた、因に氏の遺產としては山海關に時價三千元位の別莊と一萬元近くの預金があるのみだとのこと

人事

▲加賀山學氏(滿洲鐵路局顧問) 十二日出帆の大連丸にて青島へ

▲青島日本中學校一行六十一名 同上

▲張群氏(上海市長) 同上上海へ

▲方本仁氏(國民政府委員) 夫人子息同伴同上

▲旅順高等女學校旅行團一行二十七名 同上青島より歸連

▲植田謙太郎氏(陸軍中將) 十二日朝旅順より來連關東倉庫へ

▲津田靜枝氏(第二遣外艦隊司令官) 十日十九時五分着安奉線で赴奉十一日總領事館、特務機關その他を訪問した、十二日十三時四十分着急行で湯崗子へ向ひ一泊の上十三日着連の豫定

安樂椅子

滿鐵食堂のアミダ會十一日の夜、來連中の國澤新兵衞、田中清次郎氏らを星ケ浦星の家に招待し歡迎會を開く ▲老て益々さかんな國澤さん十九年前を追懷し、一ッ越後獅子を踊るから榎山君、尺八を吹けとのこと、さすがは榎山正男君、早速おさめ、松次ら老妓連を押し來り口上は酒井淸兵衞君、新兵衞老師の妙技を紹介して餘蘊なく貝滿鐵吉氏、あの慨愾な面ッつきで禿頭き宜しくあり、いよくく國澤さんの越後獅子も聲なつたが ▲言さつた代づか、却つて淋いところがあり滿場ヤンヤくと暫しが鳴りも止まなかつたと

日獨定期航空に日本は快く承諾
香港まで日本が擔當

【東京十二日發電通】ドイツの航空輸送會社ルフト、ハンザは近き將來歐亞間定期航空路として

一、北方コース　ベルリン、モスクワ、オムスク、イルクーツク、庫倫、北京
二、中部コース　ベルリン、コンスタンチノープル、チフリス、伊犂、哈密、漢口、上海
三、南方コース　ベルリン、コンスタンチノープル、バグダツド、カラチ、カルカツタ、ラングーン、シンガポール、香港

の三線を開設せんと計畫を有し先般わが政府に南方コースを延長し日獨定期航空を開始したき希望の下に出來れば日本の手で日支間の航空路を開設して欲しいと申出て來たのでわが政府は外務、遞信、陸、海軍四省協議の結果その趣旨に贊成しこれが希望に應ずることゝなつた北方、中部コースは露支紛爭その他のため困難な事情あり南方コースを選んだものであるがドイツ政府はこれにより日獨定期郵便飛行を實施する意向でありわが國としては日支航空條約締結を急速に進め支那政府の諒解の下に香港、上海、福岡、大阪、東京間の航空路を開設せんと希望してゐる

四百名の勇士が壯烈な爭覇
きのふ旅順振武館に於る
南滿武道大會の盛況

大日本武德會滿洲支部主催第十六回南滿武道大會は十二日午前九時から旅順振武館道場において開催された、試合開始に先立ち支部長中谷關東廳警務局長より一場の挨拶あり、出場者一同にて嚴肅なる武德祭を行ひたる後先づ最初には柔道では中松、島田兩氏の竹内三統流形、島田、小谷兩五段の拷形、續いて前田、平田兩五段の極の形、山根、小谷五段の古式の形、劍道では工藤、阿部兩教士の大日本帝國劍道形及び波多江氏の大森流居合等の諸形を演じ、かくて演武に移つたが、當日の出場選手は旅大兩地を初め長春、安東以南、全滿洲各地の柔劍道士約四百名にして柔道は約百七十名の選手を無段者、二組有段者二組に分ちて高點試合を又劍道は約二百三十名を三段以下と四段以上の二組に分ち何れも三本試合を行つたが、試合場は劍戟唸り龍攘虎搏の壯烈なる情景を呈し選手も觀客も皆手に汗し固唾を呑んで見入つたが、午前中無段者及び劍道三段以下個人試合の半を終り午後は零時半より殘部の試合を續行し同五時終了、支部長代理森本警務課長より左記入賞者に對し夫々賞品及び賞狀を授與ありて大盛會裡に閉會した、倘主なる成績を左記に示せば

柔道高點試合

一等榎本省悟(海軍)二等河田繁(鐵道)三等高橋(海軍)四等佐藤良吉(沙河口)五等川上年雄(大道)

個人三番試合(三段以下)

一等酒井正則(大二中)二等愛甲篤志(撫警)三等島居寛(工大)四等日野忠延(大二中)五等岩崎金十郎(奉警)

無段者二組(一級)

▲二勝者、田中(大道)橋木(大憲)谷井(大道)山野(大道)西村(警練)▲二勝者、土屋(警練)波多野(旅警)平山(旅警)津上(工大)▲二勝者、高橋、榎本(關逐)

有段者一組(初段)

▲二勝者、尾崎(海軍)佐藤(警)成田(奉警)齋藤(警練)北井(工大)塚崎(安警)水谷(工大)田中(大道)▲二勝者、篠(沙警)中田(工大)佐々木(長警)▲三勝者河田(鐵警)

有段者二組(二段以上)

▲二勝者、諏訪(遼警)藤井(大道)森下(長警)成瀨(本警)以上二段、佐分利(小警)謙山(撫警)竹下(旅刑)齋藤(沙警)今里(大道)佐々木(旅警)鈴木(鐵警)星(長警)目黑(旅警)川上(大道)二段

劍道

四段以上(三本試合)

○○杉本(關刑)　菱川(金警)
○○山口(大道)　會田(旅刑)
○吉川(大道)　○柴田(普警)
○○黑田(旅警)
○○增田(駿警)　田中(大道)

柔道十人掛

小谷五段

增田(金民)	石橋(沙警)	○×初段　荒川
○○古市(鐵警)	幸(撫警)	○×同　北井
○○篠原(奉道)	○下富(旅中)	○×同　大谷
○○岡田(警警)	大内(小警)	○×二段　楡井
○○波多江(大道)	安齋(旅警)	○×同　榮田
○○宮澤(撫道)	鶴野澤(安警)	○×同　成瀨
篠原(奉道)	○工藤(工大)	○×同　管原
		○×三段　緒方
		○×同　横山
		○×同　竹下

兩内親王さまが
御祖母陛下に御對面
秋の一日を大宮御所にて

【東京十二日發電通】照宮成子内親王殿下には十二日午前九時五十分宮城御出門大宮御所に御伺候那須御用邸より御歸京以來初めて皇太后陛下に御對面、午後一時孝宮樣も大宮御所に成らせられ陛下に御對面秋の一日を御共に御團欒あらせられ午後三時過ぎ兩内親王樣御揃で御歸還になつた

大連市民體育ボール大會

觀衆熱狂の體育ボール大會
大成功裡に終る
きのふ午後の戰績

體育デーの大連市役所主催の體育ボール大會は十二日午後よりも引續き大連運動場に於て擧行されたが觀衆も續々つめかけてスタンドを埋めゲームもまた各ゲームとも白熱化し觀衆大喜び、午後三時四十分競技を終了し別表三戰三勝の各チームに永井助役より優勝盃を授與し、永井助役の發聲で萬歲を三唱し第一回催しとして盛會裡に終了した、午後の戰績左の如くである

第二回戰

◇一般男子之部
第一中職員 2 (21-13, 21-17) 0 第一埠頭
滿鐵經理部 2 (21-20, 21-15) 0 瓦斯
◇一般女子之部
婦人協會 2 (19-21, 21-18, 21-20) 0 理研女
◇學生男子之部
二中A組 2 (21-17, 21-18) 0 大闘
二中B組 2 (21-17, 21-18) 0 商工A
工專 2 (21-7, 21-16) 0 一中B
一中A 2 (21-15, 21-17, 15-21) 1 商工B
彌生A 2 (21-17, 21-8) 0 彌生E
彌生B 2 (21-13, 21-20) 0 彌生D
羽衣B 2 (21-12, 21-14, 20-21) 1 羽衣A

第三回戰

滿鐵經理 2 (21-19, 21-14) 0 用度
二中職員 2 (21-17, 20-21, 21-6) 1 彌生職員
日本橋職員 2 (21-18, 20-21, 21-13) 1 大廣場
二中職員 2 (21-15, 21-15, 12-21) 1 大連醫院
滿鐵販賣 2 (21-18, 21-12) 0 滿鐵販賣
黃塵クラブ 2 (21-12, 21-14) 0 線路會
理研 2 (21-8, 21-16, 8-21) 1 滿鐵審査
◇一般女子之部
婦人協會 2 (21-16, 14-21, 21-15) 1 理研女
◇男子學生之部
大商 2 (21-16, 21-9) 0 一中B
二中 2 (21-19, 19-21, 21-16) 1 一中A
二中B 2 (21-7, 21-15) 0 工專
◇女子學生之部
彌生A 2 (21-18, 21-17) 0 彌生B
彌生E 2 (21-11, 21-14) 0 彌生D

全競技の成績表

三戰三勝

第二埠頭、鐵道部審査、二中職員、二中A組、彌生高女A組、婦人協會

三戰二勝

理學試驗所、彌生高女職員、一中職員、經理部、大連醫院、滿鐵販賣部、黃塵クラブ、彌生高女B組、大連商業工專、彌生高女E組、第二中B組、羽衣B組

三戰一勝

日本橋小學職員、大廣場クラブ、第一埠頭、滿鐵用度、線路會、滿鐵審査、第一中學B組、彌生高女D組、一中A組、羽衣C組

三戰三敗

商工A組、理學試女子部、羽衣A組

工專軍振ひ大倶慘敗す
きのふのラグビー戰
36—0

工專對大倶ラグビー戰は十二日午後二時六分より工專グラウンドにて安藤(主審)中村、吉田(線審)三審判の下に開始されたが大倶軍三十六對〇で慘敗した

工專 36 (9—0 / 27—0) 0 大倶

經過

前半 ▲大倶トスに勝ち風上(西側)に陣し工專キツクオフ兩軍得點なく漸く十五分工專大倶陣十五碼右端より左タツチ附近に達するクロツスキツクにより西山中央にトライ▲二十分工專藤島五碼ルーズの球を得てもぐつてトライ▲二十三分工專シヨートキツクに依り大倶陣十碼にせまりルーズの球を高瀨もぐつてトライ▲後大倶敵を壓迫し續けたがそのまゝハーフタイムとなる

後半 五分工專大倶三十碼より高瀨ボールを得て獨走トライ藤島のゴール成る▲六分工專大倶陣四十碼よりラインアツプの球を得パス後武田トライ▲十一分工專ドリブルで迫つたが佐伯のキツクでもり返へされたが巧みなTBパスで岩田トライ▲十六分工專高瀨中央ルーズの球を得てトライ藤島のゴール成る▲二十二分中央ルーズの球を得て藤島左にかわしてトライ▲三十二分大倶陣三十碼ルーズの球を工專またもTBパス後藤島トライ藤島のゴール成る▲タイムアツプ直前實業TBパスに依り工專陣二十五碼内に攻め入りしも松木の好蹴に再び大倶二十五碼内に入りライアンワツプの球を工專得TBパス後繩田トライさる

		工專		大倶	
FW	龍 村本崎田 中松宮藤	泉 瀨宅井山田田島木 高三堀西武繩岩藤松		田田城上咲道田田 黒新立木横有福 内	桂
HB					島上川田藤伯
TB					岡井石奥齋佐
FB					

戰のあと

▲現在の工專の力からいつて三十六對〇の大勝は當然の結果だつた甚だ悲しく思つたことはこの試合終了後工專の某選手がプレー中の相手方の言葉をとらへてとやかくいひ過ぎたことだ、今漸く勢ひ盛んならんとして居る工專ラグビー部のためにこんな行爲は絶對に止めるべしだ▲對滿倶戰のときにもわざわざトライするときにボールを高く差し上げてこれ見よがしにトライした選手をも見受けた▲來るべき高專大會の滿洲代表チームと目されて居る工專ラグビー、大勝の美酒に醉はず學生チームらしいチームとして精進されんことを切に希望する

日英ア式戰
五—〇、大連軍敗る

大連碇泊中の英巡洋艦カンバーランド號對大連チームの日英ア式戰は十二日午後四時卅分より大連運動場にてホルト(主審)タイルブ、川田(線審)三氏審判の下に擧行されたが前半カ號僅かに一點を得しのみで好ゲームを續けたが後半大連チーム風下の不利とカ號HBロプソンの活躍に四點を與へ五對零で大連チーム零敗した

カ號 5 (1—0 / 4—0) 0 大連

經過

前半 大連トスに勝ち風上(プール側)に陣しカ號キツクオフ兩軍好ゲームを續けファン熱狂し、漸く十九分F、W、ルーシユHBよりの球を得てドリブル後シユートして先づ先取▲後大連しばしば好機あり しも成らず一對〇でハーフタイムとなる

後半 カ號風上を利して大連を壓迫さしも大連好運好く防いで得點を許さず、漸く二十一分カ號右コーナーを得好キツクゴール直前に落下柱にあたりはねかへされした大連FW名藤ストツプを誤つてゴールインさなる▲二十三分カ號後方よりのロングキツクを受けて、トリプル後ゴーアー、シユートしてまたも一點薄暮迫り球見えず▲大連後敵を壓迫す二十九分FWゴーアーのパスをFWクロフォード受けて見事なシユートできめる▲三十分HBアツシユマンドリブル巧に攻入りシユートパスをFWライダー巧にゴール直前に受けてゴール成る

けふの日英戰

大連倶樂部對英國巡洋艦カンバーランド號の日英ラグビー戰は十三日午後四時半より大連運動場において開始されることになつた

	大連	カンバーランド號
FW	藤田 葉 藤田 澤 垣田 本 上本 齋内 稻名 前 飯古 福山 立西	ゴアー クロフォード ライダー ルーシユ ナイチンゲール
HB		アツシユマン ロプソン ブルロース
FB		スミス コツクス ヘエイマン

龍山練兵場頭空前の大觀兵式
兩宮樣の台臨を仰ぎ

【京城十二日發電通】朝鮮師團對抗演習の最後を飾る晴れの大觀兵式は梨本大將宮、朝香少將宮兩殿下の台臨を仰ぎ十二日午前九時半より龍山陸軍練兵場に擧行された、秋の氣は爽かに澄み渡る地上には國軍の精鋭三萬が過ぐる三日間息をもつかぬ戰鬪に疲れも見せず偉觀を誇る戰塵と汗にまみれて一大行進をなせば大空を蔽ふて我軍威力の空中大分列式に地上と空相呼應して戶山軍樂隊の奏でる「國を守る盛」の大行進曲は朝鮮空前の盛觀を呈した

間島へ警官增派
この際警備を嚴重にするため
天津總領事館から

【門司十二日發電通】去る六日領事館巡査三名射殺されたため間島では極度の緊張を呈してゐるが、**この際一層警戒を嚴にするの要あるより警備警官を增派**することゝなり天津總領事館警察附綠川守雄氏外八名の外務省警官特派され本日長安丸にて天津より來着今夜間島に向つた

不景氣を知らぬサービスガール
ますく增える許り
が大部分は男に苦勞

無氣味な程深刻化して行く不況風に大連の昨今は不夜城を誇る遊廓料理屋街も歡樂境として尖端を行くカフエー街も何れも四苦八苦の經營難を訴へ遣り繰算段に神經を痛めてゐるが、一方その不況の反映として白粉と媚を賣るサービス女が驚く程殖えて來た、卽ち大連署の調べによると管内の料理店、待合、貸座敷に巢喰ふ仲居が約四百名、カフエー、そば屋を足溜りとする女給、女中が約四百八十名合計八百八十名の多數に上り昨年の同期に比し約二百名の激增である、署管内人口六萬人として六十八人强に一名の割合である、而してこれ等多くのサービス女は客よりのチツプを唯一の全收入とし生活戰線への進出を試みてゐるが、一體彼れ等の收入は何の位のものか、一人當り一日平均二圓とすると八百八十名で一千七百六十圓である、不景氣風に怯えてゐる經營主に比較し彼等はまた何と惠まれてゐることか、仲居や女給、女中の殖へるのも無理のない話である處がまた世の中には彼等の上手を行つて仲居や女給、女中を働いて儲けたお金を手際好く捲き上げて行く男が尠くない、彼等の三分の二は亭主や情夫や戀人を持つて男から貢ふ一方にはこれ等の人を養ひ且つ貢いでゐるのである、八百八十名の中男のため苦勞してゐるもの五百九十四名、彼等一日の收入一千七百六十圓の内一千百七十四圓は彼等もまた男のために消費してゐるのである

白田選手勝つ
比島選手に

【ホノル、十八日發電通】來布中の日本拳鬪選手白田金太郞氏は十日比島選手コハラリオンをノツクアウトして勝つた、白田氏は今月末もう一回試合を試みた後十一月七日ホノ、ル發歸朝すると

早大再勝
九對七明大に

【東京十二日發電通】早明野球二回戰は十二日午後二時より神宮球場に球審三宅、壘審藤田、新田早大先攻にて開始兩軍猛烈な打擊戰を演じ結局九對七で早大再勝閉戰四時三十二分、バツテリー早大高小川、多野、淸水、伊達、明大田部、赤木、井野川

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
早大	0	0	0	1	3	0	0	1	4	9
明大	1	0	2	0	1	0	0	0	3	7

煖房器具展覽會
今日限り(朝九時から午後五時迄)
東公園町本社舊館において
主催　滿洲日報社

福岡の名刹燒く

【福岡十二日發電通】昨夜十一時四十五分福岡市材木町小林寺の舊庫裏前の建築小屋から發火し火は忽ち舊本堂、位牌堂と昨年新築したばかりの庫裏を燒き同寺を烏有に歸せしめ更に附近の材木入場四棟を材木と共に全燒し更に民家一戶と墓地の大樹とを嘗めたが、市内外の消防と聯隊から三個中隊の兵士出動し懸命の努力をなせるより今朝二時鎭火した、同寺は市内有數の大寺にて黑田家外知名の士の墓が有る、損害十數萬圓なほ本尊を始め過去帳と共に住職以下家僧の避難先不明なので大變氣遣はる

支那紙幣僞造犯人
長崎へ護送さる

【門司十二日發電通】本日入港の長安丸で天津領事館警察川崎巡査部長外數名の警官に護送され四名の日本人が送還されたが右四名は直ぐ長崎控訴院に送られた、彼等は大阪豐後町店員海尾巖(二二)以下三名にして同人等は大阪にて支那交通銀行紙幣十元四千枚を僞造し内二千元を手荷物として持込み第一回は見事海關を通過し二回目に上陸の際發見されたものである

演習兵奇禍
何者か狙擊し

【奉天特電十二日發】十一日午前二時二十分頃秋季演習のため步兵第卅三聯隊が柳條溝附近で演習中部隊より離れた同聯隊第十中隊中川平一一等卒外一名は道に迷つて歸路を探してゐると突然發砲したるものあり中川一等卒は右大腿部に貫通銃創を負ひ外一名は行方不明となつたが午前六時漸く發見した、中川一等卒は目下加療中で十日間で全治の見込みであるが原因については調査中である

旅順戰跡リレー參加團體

來る十七日神嘗祭當日擧行さる旅順戰跡リレー參加團體は旅順一中A、B、C組、大連商業、大連二中、旅順二中A、B組、旅順師範、大連遞友クラブ大連滿電、綠クラブ、旅順實業團、大連土木課A、B組、關東廳、工大、滿鐵の十九團體と決定した、尙本年は長官カツプ、旅順市盃が優勝組に贈呈される

重砲兵大隊演習地へ出發

旅順重砲兵大隊は十二日午後七時旅順驛發臨時列車にて奧地演習地に向け出發するが一個中隊は鐵嶺附近へ一個中隊は鐵嶺附近に下車獨立守備隊管下に入り各個に演習するが大隊の幹部連は鞍山に下車する由で歸隊は二十一日の豫定

滿日各地版

撫順

馬賊頭目等を支那側に引渡す
流石少しも悪びれず

撫順背後地を完全に騒がした滿洲馬賊の大頭目天下好、双全以下計七名は取調べ修了と共に十一日午前十一時四十分押收の兇器機關銃長銃その他と共にトラックに積込み倉田司法主任、中川刑事附添ひ支那側に送致したがこの有名な馬賊を見んものと撫順署前は黒山を築き電車も爲に通行止めを見た、流石は大頭目だけあり天下好等は悠然死を覺悟し乍ら聊かも悄げたる風なく悠然と周圍を睥睨しながらも撫順銃の射手楊玉春は一同整列寫眞を撮る時「氣を付けッ」と軍隊式の號令を掛け見物人を笑はしてゐた(寫眞は前列向って左から三番目、大頭目天下好、中央双全)

經理軍遂に優勝す
撫順野球大會

本年最終のゲームの事とて好球運の興味を弾が上にも唆ってゐた全撫順野球大會決勝戰は十米の北風飛ぶ永安臺球場に於て十一日午後一時から連勝の經理對東鄉に依つて行はれた、バッテリー東鄉黒木、前田、經理岡田、古森、野原(捕)成松、渡邊(捕)三氏審判裡に東鄉先攻にて開始されたが經理軍の打撃大いに振ひ安打十一本(内三壘打三)をかっ飛ばし一回三、二回四、四回五、八回二、計十四點を得たるに對し東鄉軍滿多野、前田等克く奮鬪せるも岡田の球に牛耳られ安打僅に二本一回一點、二回二點、三回三點、僅く六點を得たるのみで十四A對六にて經理優勝裝

双十節祝賀

中國國慶記念日たる双十節式典は日支官民多數列席裡に撫順縣公署門內前庭で盛大に行はれた、午後

(東鄉)	田本野田江田木松久田	8362754195949
	柴岡滿前鏑松黒神福隅	
(經理)	里田田 田原口口石森野	5489661785397243
	今村高森岡荻谷井大古吉	

閉戰三時十分メンバー次の如しある優勝旗は經理軍の手に歸す、

秋季招魂祭

撫順に於ける秋季招魂祭は十二日午前十時より東公園表忠碑前に於て佛式にて行はれた、この日參列者頗る多く僧侶の讀經、燒香より嚴肅裡に式を閉じ是より輕軍分會の銃劍術の餘興あり極めて盛會であった

思想講演會

目下來滿中の國民思想研究會理事功刀義典氏の講演會は今十三日午後六時半より永安小學校にて開催氏の今回の旅行は親く滿洲を視察內地青年に事實そのまゝの滿洲を紹介、傍ら在滿邦人の精神的指導の爲であると

久米氏一行來撫

昭和交靈一方の總久米正雄、大佛次郎の兩氏は目下北滿視察中であるが十四日十一時著列車にて來撫同日十八時四十分列車にて奉天の豫定

は市內鐵合樓に於て賑やかな祝宴が張られた、一般に平穩無事であった

滿鐵社員倶樂部で開催の豫定であつたが大佛氏が哈爾賓に於て風邪に罹つたため二三日延期となつた

十日午前十時頃東北大學生二百名が北大營に向ふ途中朝鮮原島畑の小作人韓文煥の稻作を蹂躙して行つた屆け出によりその筋では目下眞相調査中である

後藤伯及鶴見夫人は令息令嬢同伴十三日十五時四十八分著列車で來奉北陵城內等を見物しヤマトホテルに一泊すると

人事

▲山本第十六師團長 十一日來奉
▲武富拓務省參與官 十一日長春

奉天

臨時種痘の日割
來る廿七日から十日間

奉天署では來る廿七日から十日間左の如き日割で臨時種痘を施行すると

十月廿七日、十一月四日(直轄、浪速通、加茂町、隅田町各派出所管內)奉天署に於て

十月廿八日、十一月五日(奉天驛宮島町、千代田通、日吉町、芳野通各派出所管內)同上

十月廿九日、十一月六日(紅梅町平安通、青葉町、末廣町、渾河驛前各派出所管內)彌生小學校に於て

十月卅日、十一月七日(文官屯、虎石溝、新城子各派出所管內)

十月卅一日、十一月八日(蘇家屯、陳相屯、鉄千戶屯各派出所管內)蘇家屯滿鐵倶樂部に於て

虎石溝驛構內に於て

毎日午後一時から四時まで施行する由

列車に投石

十日午後四時五十分頃鷄冠山行二百一列車が安奉線蛤蟆塘へ五龍背間を進行中何者かゞ投石し硝子窓二枚を破壞した事件あり目下犯人嚴探中であるが附近部落民の悪戯らしいと

硫酸で火傷

市內浪速通藥局總原文雄長男(十)同十番地劉隣白瀧つれ方同居小川一夫(十)同看板屋遠藤山下吉長男秀雄(九)の三名が九日午後四時頃總原分局前で遊戲中入口に置いてあった硫酸七十ポンド入り瀬戶ものを過つて破壞し硫酸が流出したので一夫は十日間、その他は七日間の火傷を負ふたこの事件は同家の不注意と判り一夫及び秀雄の治療費全部を支拂ふことになり示談解決した

虚僞の訴へ

十日午後三時頃江島町某店々員大森潔一(二七)假名は主人の金十五圓を紛失したのに氣付きその申譯に困り四人組強盜に襲はれ現金を強奪されたと屆出たが申立に曖昧な點あり嚴重取調べの結果右の始末と判明し大森は虛僞の訴へを陳謝して解決した

町のニュース

駒澤大學對醫大の柔道試合は十日午後三時から奉天道場に於て舉行されたが三對一で醫大勝ち午後五時頃閉戰した

◇

十二日の醫大開學記念日を卜し午後二時から同校グラウンドに於て醫大對滿倶のラグビー試合舉行がされた

◇

大佛、久米兩氏の講演會は十二日

鞍山

十一日の未明鞍山で衝突
步兵中隊奮戰して二十聯隊を盛に追擊

在滿駐箚師團及守備隊の諸兵聯合秋季大演習は去る七日より全滿各地において執行されてゐるが、大石橋附近の第九聯隊と遼陽步兵第二十聯隊の對抗第十九旅團の演習は十日より開始せられた、南軍第九聯隊は海城子附近より北進し十一日未明鞍山に於て第二十聯隊の步兵一中隊と衝突し兩軍の步兵中隊は猛烈なる激戰をなし北軍第二十聯隊の遂に退却を追擊し遼陽方面に向つた

長春

腸チフス蔓延に
各種豫防法を勵行

腸チフスの蔓延に鑑み長春衞生委員會では十一日午後二時半から地方事務所で衞生委員會を開催の結果豫防對策を左記の如く勵行することゝなった

一、十一日から二十日まで野菜消毒實施
一、一般檢病調査
一、接客營業者の檢便
一、衞生思想を喚起する爲注意書配布
一、豫防藥の使用督勵

氣溫遂に零下

滿洲名物のナマコ、カキ等の不消化物を販賣せぬやう依賴する筈

そろく寒くなって來たが十一日の朝は遂に氣溫が零下一度に下つた、去年もやはり十一日に零下になつたが平均は十月五日になつてゐるから六日遲いわけである

地方事務所チーム長春遠征

開原地方事務所にては長春地方事務所よりの挑戰により體育ボール及びスポンヂボールチームを編成し一行二十名は十二日長春に遠征し同地々方事務所チームと一戰を交へると

兎の空中旅行

當地佐怜氏方へ橫濱から飛行機で十日午後一時三十分に大連へ着いた兎二番(ローヤルアンゴラ種雄雌四匹)が十一日第十三列車で到着

防火宣傳
十一日行はる

火災豫防の宣傳と模擬大火災消防演習は十一日午後一時十分警察の自動車に警察官、消防隊員、鐵兒隊員等多數分乘火災豫防宣傳ビラを撒布して市中を一巡午後三時から若葉グラウンドで防火演習並に消火器に依る消火演習を行ひ午後四時から大岩地方事務所長は關係者多數を消防隊構內に招待盛宴を張ったが非常な盛會であった

村上氏講演

大阪朝日新聞社講演部主任村上寬氏は十二日十三時十分來長一泊の上十三日午後一時から室町小學校で講演會を開催又七時からは滿鐵倶樂部で一般の爲講演會を催すと

赤ちゃん審査成績

大きな期待裡に賑はしく催されたその結果は左記二十名の優良兒が表彰されその內强健賞左記五名に授與された

入賞者

開原

兒童愛護デー市中を旗行列
愛護の歌を高唱して

滿鐵勞務課主催の兒童愛護デーは既報の通り十一日午前九時二十分小學校生徒並に普通學校生徒は小學校々庭に集合し整列し手に手に小國旗をかざして市內を兒童愛護デーの歌を高唱しつゝ行進し十一時前歸校し一同菓子一包を貰ひ二年生以下は直に嬉々として歸宅し三年生以上は同校講堂に於て催された佛教毘卷宗家平山哲堂氏の童話並に童話劇を聽き二時半賑いた見になつて喜び勇んで歸宅した

小野中隊長退院

小野開原守備隊長は奉天醫院に入院中の處十日退院歸開し當分自宅において靜養すると

●●●●●●●●●

笹沼氏離開と寄附 開原府炭場主任笹沼鐵雄氏は本溪湖主任に榮轉となり、十一日第十二列車にて出發赴任せるが同氏は出發に際し小學校父兄會へ金十圓を寄附した

牛島氏夫人の訃

開原神生洋行主牛島義雄氏令閨ミネ子さん(四〇)は病氣の爲め郷里大分縣速見郡杵築町にて靜養中の處病勢革まり遂に十日午前三時半永眠された旨當地留守宅へ入電があつた、十一日午後三時本願寺に於て追悼會を營むだ

輸入家畜が飛行機で滿洲へ

……へ輸入されたのは第四回目だそうだが兎が空中旅行して來たのは之れが始めだと又同兎は純白な四五寸も長い柔かな毛が房々と生えて居る可愛らしい兎で其毛はフランス方面では最高級な織物にされる由

四平街

輸入組合の上棟式
盛大に擧行

既報四平街輸入組合上棟式は昨十日午後二時より新築家屋々上に於て盛大に擧行された、此日風稍強かりしも恰好の小春日和にて端れを繞る紅白の幔幕は中に飜へり宛がら輸組の將來に幸多かれと祝福するかの如くはたくとはためいてゐた、年來の勞苦漸く報いられた柱理事の面に輕い昂奮の色が讀まれ、之を圍繞する多數の招待客は皆一樣に御芽出度うを連呼してゐた、嚴かな神官の祝詞も柱理事の流暢な工程報告も、誠心溢るゝ來賓の祝辭も豫の如くすらくと終末を告げ、やがて屋上監査に規はれた來賓、組合員に依つて吉例の餅撒きは開始され撒十百の群衆は醜さ降る紅白の餅を追つて相與じ時ならぬ人波は鯨波のそれを思はしめ、絡つて祝賀會を屋上に開催すれば之より先大和洋行內に蝟集せる花界撰り拔きの美形連は招きに應じて屋上の御馳を運び主客時を忘れて歡を盡し黃昏濃くなつて漸く散會した

强健賞

井上ミキ、鈴木與彥、龍谷壯介、赤木寬、穗滿郁子、佐藤和子、島田歌子、森下文子、鶴殿眼子、齋藤幸子、龜山榮、藤井洋一、西淨光男、白濱田巳子、片桐智子、福田昌子、大岩文二、山田雄午、垣內智惠子、宮崎マサ子

鈴木與彥、龍谷壯介、赤木寬、穗滿郁子、佐藤和子

人事

▲櫻內幸雄氏(衆議院議員) 十二日撫順往復より來奉十一日大連より來奉
▲加茂博士(東大教授) 十一日安奉線にて歸國
▲森守備隊司令官 十日過奉鞍山へ
▲二宮關東軍憲兵隊長 十日安東へ
▲津田第二遣外艦隊司令官 十日夜安奉線にて來奉
▲日淺鐵道省旅客課長 十日夜赴連
▲青木奉天車輛事務所長 十日歸奉
▲福田京城高等法院長 十一日大連より來奉
▲小川博士(元赤十字奉天病院長) 十一日安奉線急行にて歸國

瓦房店

增築倶樂部のコケラ落し

既報瓦房店倶樂部の落成コケラ落しは十日午前十一時半倶樂部內において施行した、正面に神棚を祭り滿鐵その他各所屬長以下來賓多數、出席大國神官の修祓に次で小野寺所長代表して榊を捧げ一同禮拜し終りて晝食を共にし午後二時散會した、別室には當地有志の盛花會あり特に興を副ふる趣きがあった

安東

鎭江山の大標識
愈よ近く建設に決定

滿洲唯一の名所として自他共に許してゐる鎭江山に一大標識を設置すべく計畫が進められ既に其の設計もこのほど愈々竣工た着手の處このほど愈々着手することゝなり十日區長以て地方事務所は十日區長以下關係者近く鎭江山入口籐棚附近の害であるが標識は二十有餘然たるもので表面には北の事務所長の揮毫に拘る滿洲一位鎭江山の大文字が刻まれてゐる

を附した牌子を附けしめる樣にして欲しいと

驅逐隊拔錨

第二遣外艦隊第九驅逐隊「樺」「欅」の兩艦は豫定の警備を終へ十日午前十時半拔錨續々たる黑煙を吐きながら安東港を出港したが當地よりは米澤領事、井上地方事務所長、高山警察署長、大津地委議長、荒川會頭其他多數官民有志は鐵江丸にて途中迄見送りをなした

國境雜信

安東警察署では近來野犬激增し狂犬の被害多きに鑑み本月二十日より二十五日に至る六日間毎日午前五時より正午に至る間野犬狩を施行する筈であるから畜犬家は氏名を

遼陽

兒童と家庭の座談會

大朝講演部主任村上寬氏の來遼を機とし滿鐵社會係で十日午後七時から圖書館で座談會を開催したが出席者の主なる者村上寬、見坊所長、杉本社會主事、三澤庶務、中村地方係長、渡邊憲兵分隊長、將校婦人其の他であった、話題は▲婦人職業問題▲家庭職業婦人▲教育と女教員▲兒童中心主義家庭▲童話と家庭▲童話と國體▲在滿青年の結婚問題▲在滿婦人の階級思想▲兒童愛とは何ぞや

鳳凰城

新義州小學生の紅葉狩

九日朝十一時四十分着列車にて新義州公立小學校生徒三百二十九名は村松訓導引率のもとにはるく國境をこえて、鳳凰山紅葉狩に登山した、長い旅路の疲れもなく甲斐くしく滿鐵よりの途中山驛停車に一同大喜びして登山の途についた

井上氏の精神講話

九日午後七時より當地市民の有志主催となつて鳳凰旅館にて井上鑑次郞氏の精神講話があった主題は現代世界の經濟狀態に關する講話と現代の社界といふ二つの講話があった

旅順

全滿記錄大會
◇……第四日目の成績

全滿記錄大會第四日目、百米、八百米、走跳の記錄は左の如し

▲百米 清田清光(大連)一一秒四(二段)上倉藤一(體所)一一、六(同)中村敏夫(旅一中)一一、七(同)橋本秋夫(無電)一一、八(初段)山縣寬(旅一中)一二、〇(同)林不二太郎(工大)一二、二(一級)樋口義和同上吉田勝(旅一中)一二、四(二級)山本一九(同)一二、五(同)林力(同)一二、六(同)杉江寬(工大)一二、七(同)永田連藏(同)一二、八(同)木村輝夫(旅順)一二、八(同)眞砂勝喜(青葉)一二、八(同)石井又四郞(工大)一三、〇(同)大島井喜人(國東)二二、九(同)

▲八百米 上倉藤一(體所)二分三七秒四、鵜飼龜一(無電)二分三三秒二

▲走高跳 上倉藤一(體所)一米五〇(一級)宮崎安市、長濱錦一(青葉)林力(旅一中)潘賢信(工大)柴山明(旅一中)右いづれ同上、山中正二(大一中)一、四七(二段)田中義夫(同)山本一三九(旅一中)一、四〇(二段)

白玉山小祭

恒例による白玉山納骨祠秋季小祭は愈々來る二十三日午前十時から山上にて擧行されるが當日は木曜日であるも一般官廳及市中各會社銀行並に各學校其他は一般に臨時休業を爲し順時參拜を爲すべしと

野球大會決勝戰
重砲隊優勝す

小磯運動具店主催全旅順硬式野球大會決勝戰たる重砲兵隊對實業團の試合は十一日午後二時十五分より旅順球場にて實業先攻球審千田、壘審野上兩氏の下に開始せるが九A對五にて同三時五十五分重砲隊

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
重砲	1	0	0	5	1	2	0	0	A	9A
實業	3	0	0	2	0	0	0	0	0	5

	打順
實業	興安新中田宮矢見 石本弟野中田部 境 長 (2841537769)
重砲	野田津田澤山野岡井 羽高廣池永川岩吉 多 富 (5236178 94)

優勝旗は重砲隊永澤主將に授與され並に全旅順硬式野球大會は此日兩軍のメンバー及びスコアー左の如し終了されたが當日兩軍のメン

本溪湖

大變賑つた國慶記念日
學生の行進や提灯行列

支那國慶記念日は十日午前十時より支那街廣場に於て擧式されたが日本側より招待を受けたる郗谷所長、警察署長代理其他列席し式了つて後ち餘興は夜に亘り少中學校生徒約二千五百名が市街行進に賑ひ夜は提灯行列に非常なる賑はいであった

人事

▲鞍山製鐵所富永次長は十日來溪即日北行した
▲滿鐵販賣所主任森田秀雄氏は長春販賣所へ榮轉十日五列車にて家族帶同赴任した

警察官招魂祭

十一日新市街で擧行された全滿警察官招魂祭典は近來に無い盛儀を呈し逐年供物も參列者も多くなつて來た事は此上もない▲以前は餘り盛儀でなくホンの警務關係者のみばかりで行つてゐた爲めもあるが近年又一般の官民が進んで參列するに至つたことも爭はれぬことで喜ばしい極み▲元來本祭典は白玉山招魂祭にも比すべき在滿邦人にとつては最も意義深き祭典であつて十一日の祭典は相當盛儀であつたがヨリ以上少く共旅順各町內旗なぞ樹て市として……モット〳〵力を添へて貰ひたい感じがする▲在旅各學校生徒の參拜は誠に結構な事である進んで年一回のこの祭典には奧地沿線の各地方委員なども參列する義務があると信ずる、滿鐵の代表として理事や關係高級社員なぞも當然參列すべきであらう

海の唄 「八一」
仲木貞一 作
林 惇 畫

闇を泳ぐ者 (四)

「なんだって泣いてるんです?京子さん!」

眞野は、何となく急込んだ調子で云つた。

「………」

「……僕は、いつか貴方が愛嬌であるわけを御話しようと思つてゐたんです」

京子は、未だ眼からハンカチを離さなかつた。

「何でも僕で出來ることなら……」

眞野は、長いことこのバアーへ來てゐる定連なので、女給たちの誰彼もが彼を紳士として待遇してゐたので、京子も何となく親めるやうな第一印象が、彼の口許に、何時までも殘つてゐた。

「別に何でもないんです。たゞ泣きたい時に泣けるのは、私を幸福にしてくれるからです……」

と、云つて、京子は邊を憚るやうに見廻した。然し、未だ客は時には早いので、二階には誰もゐなかつた。

「そりや、さうですね。眠い時に僅かの間でも睡になることは、それが何倍かの時間を休息したほど効果的だから、それと同じことでせう!僕たちだつてさうですよ。言はざれば腹ふくるゝの譬の通りで……」

眞野は、この場合、京子の心を幾分でも慰めてやりたいと思つた「でも、人生なんて、自分が默殺していくのがいゝんでせうが、私たち女には、それが醜態とは慄然の破綻とかからで、まるで活動のスクリーンのやうに、早いテンポで變つて了つて了ふんですもの……」

眞野は、一寸出し拔かれた時のやうに、京子の言葉を訊いた。

「そりや、さうですとも。……もう、運命論で人生を達觀するやうな時代ぢやなくなつてゐますもの……」

と、眞野の六感が、傍う云つてゐた。

「全くですわ。私なんか、一體、どうしてかうした生活に這入つて來たかなんて考へることは、どんなに無智なものにでも考へられることだつたでせうに……それが私にはわからなかったんです」

「さうでせう!それだけ聞いて、僕には貴女の過去の悲壯と生活が眼に見えるやうな氣がします。貴女が、さうした無智な女性としたことは、貴女の過去の生活がさうさしたのでせう?」

と、眞野は眞顔で云つた。

「えゝ、さうなんです……」

さすがに、京子は再び啜り泣いた。

「また泣くんですか。貴女は、現在、さうした破綻の岐路に立って、さう弱くては駄目ですよ……。もう少し强くならなけりや」

眞野は、バットの煙を、ゆるく天井へ吐いた。

「ありがたうございます。泣くことも、やはり私の過去に修養の足りなかつた證據ですわ」

「然し、今更、過去のことをあばいても仕方ないぢやありませんか、それよりは現在の自分を、どう生かして行くかと云ふことを考へるのが、結局、自己を愛することになりやしませんか?……」

と、どこまでも、眞野は生一本調子で云つた。

京子は、何か眞野といふ存在が自分に味方してゐてくれるやうな好感が、心の底に眼を擧げ出した「眞野さん!ちよつと私に眼を貸して下さいなあ」

「眼を?」

「えゝ、相談相手になつて下さい」

「えゝ、そりや、僕に出來ることなら……」

京子は、滿足さうに、はれ上つた瞼を眞野の方へ差向けた。

「あのマスターが、私をメンバーへ加へるつて云ふんですが……」

「メンバーへ……貴女をですか?……」

「えゝ」

「そりや、僕がマスターへ話して上げませう。あんなメンバーへ這入つたら、最後ですよ。それこそ女といふ形骸だけの存在になりますもの……。まあ、一切の存在を苦惱の中に蹴はして了ひますよ」

眞野は、眼が鋭く輝れた。

と、その時、他の客が四五人、不二子を案內役にして、ドカくと、階段を上つて來た。

京子は、不意と起つて、他の席へ段から降りて行つた。眞野は、そのまゝ惡戯しに外を眺めてゐた。

新刊紹介

▲國產愛用の理論と實際(小山谷藏著)產業合理化の唱導に次いで實際的國內產業合理化の第一手段として政府に依つて高揚されむとしたのは國產愛用の實行である、國際愛用パンフレット第二輯として發刊された本書は我國の對外貿易事情より說き起して新興國內產業を論じ、外國品に劣らぬ優良國產品を例示して將來における國內產業振興に關する洞察をなし、誤れる舶來品偏重の觀念を打破すべしと論破してゐる(二十錢、東京日比谷公園內國產愛用協會)

▲海防(十月號)航空禮讚(松永武吉)大西洋上の航空郵便において(美亭生)支那の空中輸送問に展開する經濟鬪爭(箕田一雄)其他(二十錢、東京麴町區日比谷公園義勇財團海防義會)

(B・T・S)ロシヤとアメリカ

▲川柳人(十月號)川柳百七十年史(井上劍花坊)川柳風景(五氏)臭骸(井上劍花坊)川柳は生きてゐる(小池蛇太郞)味覺に觸れて(河本寄果)(卅五錢、東京市外杉並町馬橋柳樽寺川柳會)

▲モーター(十月號)圓タクの不振は此如くして打開すべし(山本寶村)動力と交通とに現はれた現代相(吉田台治)尖端な行く自動車の設計(松木明吉)初めて自動車を運轉する人々へ(水谷春太郞)其他(五十錢、東京赤坂溜池極東書院)

▲マンガ・マン(十一月號)病院自動車(ミルト・グロッス)こんと・オヴ・こんと「百年後の世界」座談會、紳士と薬の花(ナンセンス小說)(八木東作)特輯漫畫「百年後の世界」(十一漫畫家)其他高級漫畫ファンを喜ばせるカリケチュア、アイロニカルな記事滿載(二十錢、東京市外目白驛山東京漫畫新聞社)

▲滿洲昭和俳句集(大連俳句會)滿蒙の曠野に俳句が芽生えてから旣に四半世紀の歷史が閱した、其間流派に幾多の傾向を派出し各々盛衰變遷があつた、本書收むる處は作家五百類題約八百、句數三千餘、昭和三年秋から同五年初夏に至るまで滿洲に於ける俳句雜誌、新聞其他に發表されたもの、中から嚴選聚纂したもので滿洲俳壇の鳥瞰的句集といへる附錄の「滿洲俳人名鑑」は本書が新らしい試みとして作製した同好者名の集錄で非常に面白い、裝幀は丸山晩霞畫伯で滿洲色たっぷりな俳畫で趣を出してゐる(一圓廿錢、大連山縣通卌一大連俳句會)

▲東亞(十月特輯號)支部の內面的檢討號、依然たる隣邦の混沌(卷頭言)支那の治外法權撤廢と我滿蒙の權益(松原一雄)革命人としての支那國民の共通的缺陷局觀(安東不二雄)逆轉せる支那の政局觀(小川節)支那の勞動運動(陳達)英國の近東政策(マーヘンドラ・プラタプ)東亞の動き(長野朗)特輯支那の內面的檢討(十氏)東亞座談會記錄、支部における各國投資の現狀(調查部)東亞時報(調查部)其他(七十錢東京丸の內東亞經濟調查局)

滿日柳壇募集

題 「留守」「羽織」「叫び」
締 十月十五日著便
句 各題五句(必ず別紙)
宛 大連市能登町十高橋月南

滿日俳壇募集規定

次回課題「秋の野」「雁」「鷹」

▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙に認むる事締切十月十五日▲原稿に住所姓名明記▲封筒に「滿日俳句」と明記▲投句先、東京市牛込區若松町八二島田靑峰宛

滿洲日報
夕刊
十月十二日

きのふ愈よ露都にて露支正式會議開かる
勞農、哈府議定書有効を强調　莫全權明答を與へず

【モスクワ十一日發電通】ハバロフスク議定書に基く東支鐵道問題露支正式會議は支那側代表莫德惠氏のモスクワ着より五ケ月を經た本日夕漸く開會された、ソウエート主席代表カラハン氏はロシヤが總ての不平等條約を拒否する態度を述べ本會議においては露支兩國共一九二四年の露支協定及び奉露協定並にハバロフスク議定書を基礎とすべきを述べ莫德惠氏これに答へいよいよ交涉に入つたが、カラハン氏はハバロフスク議定書にその内に規定された支那政府の義務に關し支那政府は全部これを承認するやとの質問を發し　これに對し莫德惠氏は今までに既に中外に知られてゐる東支鐵道に關する多數の事實はこの問題に對する支那の立場を支持してゐるものであると漠然たる回答をなしたので、カラハン氏はもつと明確な返答を承りたいと詰め寄り更にハバロフスク議定書に關する南京政府の態度は頗る矛盾したものがある　南京政府は二月八日同議定書を承認し、更に在ハルビン代表は數回その有効なる事を承認する旨確言してゐるのに支那は同書に規定された白露軍の掃蕩については何等實行もしてゐない、予はこの二つの事實につきいづれが支那政府の態度を代表するものなるかを知りたいと突込んだが、莫德惠氏は相變らず從來の事實について云々するのみで確答を與へず、本日の會議はそのまゝ散會した、なほソウエート側は今次の會議は總てハバロフスク議定書の有効なることを基礎とするものであるからこの問題を明白にすることを第一に强要するものと信ぜられる

白露人の追放要求
哈府議定書の明文に基づいてロシヤより莫全權に

【ハルビン特電十二日發】ロシヤは露支正式會議に哈府議定書を尊重する意味から白系ロシヤ人の幹部ジテリックス、ホルワット、オストロモフ、クルイシコ、ブロンスキーその他東北四省の顧問等の國境外追放と在支二十萬の移民ロシヤ人の處分、露支國境に活動するパルチザンの武裝解除取締方を莫全權に要求した、數日前奉天總領事ズナメンスキー氏から東北政權に發した白系取締上の抗議文を哈府で放送し蒸し返してゐるなど白系の處分についてはロシヤ側は可なり强硬の態度を見せてゐる

日本の不景氣は頗る複雜なる形
濱口首相の時局談

【鎌倉十二日發電通】濱口首相は一週末靜養のため鎌倉の別莊に入つたが左の如く語る

國防計畫　國防補充計畫は目下海、藏兩者間に折衝中で海軍側から大藏側に原案を說明してゐるが、また終らぬさうだ何時頃最後案が確定するかは各省豫算との關係もあり判らぬが海軍大演習で首腦部が暫く離京するからその間海軍、大藏兩省事務當局間に交涉を進め演習後最後の決定を見ることゝならう、海軍案は頗る尨大なもので減稅との振合を心配する向もあるが双方誠意を以てやつてゐるから必ず適當の解決に到るものと確信する

失業問題　失業問題については地方長官會議の訓示に述べたやうに形勢に應じ適宜の施設を行ふ考へだ、この種施設を要する時期の認定は國勢調査の結果その他各種事情を綜合し政治的判斷を下す譯だが目下のところその時期が到來したとは考へぬ、この施設は勿論六年度豫算編成と關係があるが豫算編成後新施設の要を見れば追加豫算として要求も出來る

不況問題　物價の下落と不景氣はこの程度で底を突いたものか何分我國の不景氣は頗る複雜な形で現はれてゐるから俄に論斷を許さない

日銀利下　今回の利下は日銀の發表した通りの理由に基くもので決して政府のデフレーション政策に背反するものでない

米價對策　農林省の米價基準案は未定案で直に政府案とするまでの確信はまだ附いてゐない、これを十五日の米穀調査會にかけた上でないと米穀法の根本改正案を來議會に出すか否や判らぬ

國防、減稅の兩問題は政治的に解決の方針
來週大體の數字決定

【東京特電十二日發】來年度豫算編成上の最大難關たる國防補充計畫については目下海、藏兩當局間に折衝中だが結局政治的解決に待たねばなるまい、これが爲め江木鐵相は濱口首相の旨を受け頃日來頻りに關係各方面を奔走して協議を遂ぐる所あつたが十一日午後二時には井上藏相と會見し更に午後三時半には鐵相官邸に小林海軍次官を招致し濱口首相並に井上藏相の意見を傳達するとともに海軍側の意見を聽取し引續き補充計畫と減稅額との圓滿なる解決策に關し協議する所あつた、而して補充計畫の成行に關する政府部內の意向を綜合して見ると大體大藏省の査定は來週初め頃には終了する模樣だからその結果を見た上で先づ藏相と海相との折衝が開始され更に江木鐵相も出馬し兩者の意向に基き政治的解決に入ることゝなるのであるが減稅額については濱口首相は萬難を排して留保財源五億八百萬圓中一億八千萬圓以上をこれに振り向ける意向のやうであり安保海相も首相の意の存する所は充分諒として居るから結局は海相が海軍大演習陪觀のため出發する以前卽ち十八日頃までには補充計畫及び減稅に振り當つべき大體の數字に關しては大なる波瀾なく決定は出來るものとして前途を樂觀してゐる

大藏省の査定方針・主計局十四日から開始

【東京十二日發電通】海軍補充計畫案に關する海軍、大藏兩省の折衝は愈々本舞臺に入り海軍省からは加藤經理局長、畑軍務局長、佐々木第一課長、佐藤航空本部長等十一日午前十時大藏省主計局を訪問して午後八時半に至る迄約十時間に亘り原案の說明を行ひつゝ折衝を重ねたが更に十三日も說明を行ひ主計局の査定開始は十四日となる豫定である、主計局側の海軍原案につき見る處は
一、必ずしもロンドン條約による制限內艦艇保有權利を最高限に行使する必要を認めず
一、制限外艦艇中には削減、繰延べをなすも製艦能力維持、國防缺陷補充上絕對必要ならざるものがある模樣である
一、航空母艦建造、航空隊十六隊增設には根本的削減、繰延べを加へ得べし
一、物價下落に應じ製艦費の切下げ餘地あり
一、艦艇の改裝研究所設置その他軍備內容充實費は再考の餘地ありと見てをり主計局は徹底的に削減し原案五億餘萬圓を三億程度に節減するに至らう

陸軍々革の明年豫算計上は斷念
近く正式に方針決定

【東京十二日發電通】軍制改革に關し軍部調査會では六年度豫算に計上する方針の下に鋭意研究成案を急いで來たが
一、今回の軍制改革は前回の軍制改革と異り全兵科の編成裝備の細部に亘り根本的に改正しやうとするものであるため調査研究が意の如く進捗せぬこと
一、宇垣陸相の病氣缺勤が一層研究進捗に禍した
一、豫算の變動常ないため成案上の基礎定まらぬこと
一、宇垣陸相並に武藤教育總監病氣のため改革案の根本方針を決定すべき三長官會議の會議が急速に出來ないこと
一、案が決定しても豫算に編むまでには最少二ケ月の技術的研究を要すること
等から如何に努力するも明年度豫算に計上することは不可能となつたので調査會では遂に案の明年度豫算計上を斷念するの態度を決定この旨會長たる杉山次官より陸相代理に報告した、よつて阿部、若しくは杉山次官が國府津に宇垣陸相を訪ひ陸軍としての正式態度を決定するが、宇垣陸相としても明年度計上困難を察知したれば異議なく承知すると見られてゐる

和平實現の曉には予等三名は下野
閻、馮、汪三氏の通電

【北京十一日發電通】閻錫山、馮玉祥、汪精衞三氏は石家莊會議の結果五日附にて張學良氏及全國に宛速かに和平善後會議を召集せんことを提言し和平實現の曉は予等三名同時に下野すべしとの正式通電を發した

擴大會議は解散

【北京十二日發電通】北京より太原に移された北方黨部擴大會議は閻、汪、馮三巨頭の和平贊成通電發出と同時に解散された、同會議は去る七月十三日北方政府母體として成立し三ケ月足らずで消滅した

林奉天總領事　張作相氏と會見

【奉天特電十二日發】林總領事は十一日午前九時吉林省政府主席張作相氏を訪問懇談を交へ正午頃歸館したが今回の間島警官射殺問題には觸れなかつた模樣である

蔣、張兩氏は近く會見の豫定
孫科氏の赴奉說は知らぬ　張群氏等けふ上海へ

中央軍と反蔣軍とが天下分目の戰ひの時に當つて國民政府より奉天に派せられ張學良氏抱込みに奔走した上海市長張群氏、國民政府駐奉代表方本仁氏は戰爭も中央軍の勝利に歸し十日の張學良氏の副司令就任も無事終了したので十二日午前八時着列車にて來連、星ケ浦ホテルにて食事を認めた後同日午前十一時出帆の大連丸で相連れて上海へ向つた、がつしりした體軀を中山服に包んだ張群氏は出帆間際に乘込んで來たが重任を無事果した得意の面持を包み切れず元氣よく語る
私は總てに非常に滿足して歸ります、上海に一日居て直ちに南京へ向ひ蔣介石氏に會つた上色々報告を致しますが支那の時局もこれで安定したわけで第四次全體會議において愈々訓政期の根本方針を確立し中華國民の幸福のために盡すのみです、北京で蔣介石氏と張學良氏と會ふといふやうな話は未だ全然なく張學良氏は折を見て南方へ赴き中央と重要政務につき打合すであらう、孫科氏の赴奉說は聞いてゐない
次いで約五分間遲れ方本仁氏は夫人に息一人を連れて慌て〻乘込んで來たが張學良氏も副司令に就任し支那政局も愈々安定となりました、と彼も大任を果した喜びにほつと一安心の態である

黃河鐵橋爆破
西北軍撤退の際

【北京十二日發電通】平漢線の黃河大鐵橋は先般の西北軍の撤退の際爆破された

失業公債の必要與黨內にも擡頭
井上藏相は依然反對

【東京十二日發電通】本年度豫算編成に當り特に失業救濟のため公債政策を緩和すべしとの意見は最近與黨內でも相當主張せらるゝに至つた、卽ち從業失業救濟につき地方債の緩和を圖つてゐたが更に一歩を進めこの際政府の手で直接救濟事業を起すことが肝要である失業公債はこれを以て豫算編成の財源とするものでないから決して非募債主義の根本方針を放棄するものでない、只現下の失業救濟の必要上失業公債を起し道路港灣修築、河川改修等に充つると共に一にはこれを以て將來生業振興の素地を培はんとするが眼目であるといふにあり、幹部中にも右意見を政府當局に非公式に進言してゐる者あるも當の井上藏相は依然新規公債發行を躊躇としてゐるやうである、しかし國勢調査の結果失業者激增が判れば國家として適當の方策を講ぜねばならぬとしてゐるので與黨としては近く首相官邸に開かるべき所屬議員と政府との懇合親睦會においてもこれ等の意見を開陳懇談を重ねる意向である

永井外務次官　上海で歡迎攻め

【上海十一日發電通】永井外務次官は上海着後日支双方の歡迎攻めに遭つてゐるが南京へは十六日正午發に變更した

赤十字會議　次回は東京で

【ブラッセル十一日發電通】當地に開催中の萬國赤十字會議は次回は一九三四年東京に開くことを決定した

北滿鮮人取締統一

【ハルビン特電十二日發】北滿に在住する鮮人取締については、これまで特區行政管內と吉林、黑龍の隣接縣との間に何等連絡ある統一の方法がなかつたが最近鮮人共產黨に對しては徹底的にこれが檢擧を行ふため相互連絡の辦法を施行するに至つた、右につき某消息通は語る
これまでは特區と隣接縣との間に境界爭ひがあり互にその責任を轉嫁する傾向があつたが、最近鮮人共產黨と中國共產黨との聯絡により積極的運動が開始される機運に向ひつゝあるため支那當局では行政區劃を超越して取締る具體的辦法を設けるに至つた、なほこれと同時に韓僑居住取締規則を施行し一齊に戶口調査を開始しそのため善良な鮮人までが支那官憲の壓迫を蒙るやうになつたことは甚だ遺憾である、共產鮮人の指導方面はやはり上海、北京が策源地である

日曜閑話
豐作貧乏の秋
米食經濟生活の過渡期時代

一百七八十粒の稻の穗が今年は二百粒以上も稔り豐年滿作さあつて「豐年貧乏」などの新語が生る豐葦原の瑞穗の國も貨幣經濟さあつて悲鳴をあげる。自給自足に終始して天命に安んずる時代であつたなら問題はないが米代は生活費の一部分、否、ある階級にあつては一小部分、こうなると有餘るものがあつて而して有足らぬものが出來、政府の對策といふやうなことが絕叫されることになる。

◇

一體、米の原產地は何處か。インドかビルマか、とにかく濕潤な熱帶地方に相違ない。加之それがインド教と、ある場合には佛教と深い關係があつたもののやうに思はれる。ジャバから臨領インド諸島のインド教の流布した地方は、回教徒となつた今日といへども米を主要なる常食として居る。佛領インド支那から廣東、福建、浙江邊から海を渡つて朝鮮半島、日本群島は勿論のこと、今日では遠く北滿から露領沿海縣にまで耕作される。

◇

然るに中央アジアから支那の中原に押し出して來た漢民族なるものは米を常食としたものではないすくなくとも中央アジアから民族的に移動して來た彼らは水稻を耕作するの機會がなかつたのである遊牧の民として中央アジアから移動し來り、農具を發明し、それから肥料を發明し、中原に定住するやうになつてからも、水稻を食ふといふやうなことは出來なかつたのである。

現に支那では黍、稷、稻、粟、菽、大豆みな米あり、麥、小豆、小麥の三者、米なしといふて、これらを九穀六米と稱した。すなはち昔は米といへば九穀のうち六穀の總稱であつたのである。

江南の地が元以來の歷史を有するに徵し、臺灣などが清朝以來、初めて政令が行はれたなどに考へ來れば、米を主要常食とする民族はアジア大陸の東海岸を南から北に流れる寧ろ濠民族の文明とは異つた方面に發展したものと思ふ。文字は同じ米の字を使つたにしても、支那では昔から粟を食つた。古字づけれ　ば粟は西來せる米といふことも出來るのである。吾人が日支の同文同種などいふことに、多くの例外を認めて置かねばならぬといふのは、そんなところに幾つかの理由が存する。

◇

米を主要常食として來たところの民族は水澤を擇び、地方に散居して來つたやうである。中央アジアから支那の中原に移動して定住したところの漢民族は團體的の群居を餘儀なくせられたのである。現在、遊牧しつつある蒙古民族の間に見るやうに、荒涼たる自然を征服するがためには集團群居を必要とした。而してそこには社會的の統制が要求せられ、そこに儒教の如きものが生れ、アラビヤ邊の天文學などと混淆して天命といふやうな觀念を重ね、それが易といふやうな支那の哲學を發織した。

米を主要常食とするものは自然の必要上、散居せねばならず、そこには漢民族の文明のやうなものは發生し得なかつた。日本や朝鮮しかも後代に至つて西からの文化と南からの文化とが混沌したが、とにかく專國等は元時代以前は中華からすれば化外の蕃族、南蠻鴃舌の民であつたのである。支那南北の思想に相容れぬところある、また今日に始まれるにあらざることを知られればならぬ。

◇

何はともあれ、米を主要常食とする自足自給の農業經濟時代が貨幣經濟時代、いはゆる資本主義の時代となつたから問題であり「豐年貧乏」といふ未曾有の經濟恐慌に遭遇し濱口內閣が試練しつつあるといふことになる。（一記者）

將來有望なる青島の邦人漁業
望月青島副領事語る

青島副領事望月靜氏は來る十四、五、六日旅大において開催される西部水產大會に青島側を代表して出席のため十二日午前十一日入港の長春丸にて來連したが氏は語る
今回の西部水產大會は青島は重要な地位を占めてゐます、大體青島の水產業は全部邦人が實權を握つてゐますが同地における邦人產業の紡績業に次ぐ重要なものです、目下組合に入つてゐる**邦人漁師**が四百餘名からなり年額百萬圓以上あげてゐますが市場も全部邦人がやつてゐるのです、そしてとれた魚はどしどし濟南とか支那奧地に送るのですが需要は殆ど支那人方面で最近支那人も生魚をよく食べるやうになりましたから今後益々有望なのです、しかし支那官憲は事毎に邦人の旣得權を回收しやうとこの漁業權にしても始終煩い問題が起つてゐます、本年春の龍口沖の鯛漁權期にしても**日本軍艦**が保護に向はねばならなかつた程ですが今までに支那側との確りした漁業條約もないので今後どうしても同地における漁業權について確立するやうに交涉が起つて來るだらうと思ひます

廣東省主席着滬

【上海十一日發電通】廣東省政府主席は蔣介石氏の招電により本日午後三時北京發汽車で當地より

人事

▲三重縣軍隊慰問團一行十九名十二日出帆のはるびん丸にて內地へ
▲德島商業學校一行五十三名　同上
▲熊本農學校一行七十三名　同上
▲長崎女子師範學校一行八十四名　同上
▲長崎女子師範學校一行十四名　同上
▲大坪正氏（鐵道國際觀光局員）同上
▲水谷榮一氏（關西大學教授）同上
▲大岡憲二氏（關東廳土木課出張所技師）福岡における全日本水道會議出席のため同上

うらる丸　十三日午前八時大連港外着の豫定

天氣豫報
十三日（南の風）晴後曇り

各地溫度

地名	十一時	昨日最高
大連	一八・三	一三・二
旅順	一八・六	一五・七
營口	一七・一	一三・八
奉天	一七・二	一三・七
長春	一四・九	一一・七

滿潮　午前一時十分　午後一時
干潮　午前七時卅分　午後七時五分

共產黨事件公判第二日目

第二日目東京控訴院管內四・一六共產黨事件の第一日の公判廷が混亂に終始し初めての試みの統一裁判が不評判に終つたが二日目（九日）からは前日の經驗から警官百五十名を朝の五時から廷內外に配置し憲兵が應援した一般傍聽を禁止された朝からつめかけた數百の傍聽人は警官隊と小競合が始まり非常な物々しさであつた、寫眞は門前で警官隊と傍聽人の小競合

けふ故後藤伯の銅像 嚴かに除幕式行はる

黄海の波を遙かに俯瞰する 颯爽たる見事な風貌

＝風光明眉＝な星ケ浦、黄海を眼下に見る霞ケ丘に建設された初代滿鐵總裁故後藤新平伯の銅像除幕式は午前十時號砲煙火一發を合圖に參列者の着席があつて藤根滿鐵理事の開會の挨拶あり而して銅像を覆ふ幕が風のため煽られる關係上順序を變更して、銅像製作者朝倉文夫氏に手を引かれた嗣子一藏伯の長女和子さん（六）の可愛い手で銅像の天邊から垂れてゐる紅白の綱が引かれると同時に紅白の幕が切つて落された、黄海を俯瞰する新平伯の銅像が仰がれたその瞬間に

＝參列者は＝期せずして拍手を送つたが快晴な秋の光に反映した伯の銅像はさながら生けるもの、如く而も實に莊嚴なもので參列者は伯の偉大なる人格と朝倉氏の技神に入る藝術とに暫しは感嘆して一語もなかつた、建設委員長前滿鐵理事長國澤新兵衞氏の式辭および事業報告後神官の嚴肅な御祓ありて國澤氏、嗣子一藏伯、製作者朝倉氏の順で玉串奉奠、太田關東長官、仙石滿鐵總裁、大連華商公議會長張本政氏（副會長代讀）滿鐵社員會幹事長市川健吉氏の

＝祝辭朗讀＝田中清次郎氏の祝電（水野錬太郎、松岡洋右、永田秀次郎その他多數）朗讀あつて嗣子一藏伯の謝辭、藤根理事の閉會の辭で十一時式を終り銅像下で立食の宴あり午後零時散會した因に式場には太田關東長官、仙石滿鐵總裁、滿鐵社員會その他多數の花輪が飾られ遺族としては嗣子一藏伯のほか長女和子孃、鶴見祐輔氏夫人令孃が列席し建設委員長國澤新兵衞氏、世話役田中清次郎氏、上田恭輔氏その他滿洲在住知名士數百名であつた

十六尺の巨像 臺石は二十四尺 題字は齋藤子爵

銅像は十六尺、臺石（岡山産御影石）二十四尺、臺石の裏面に嵌してある題字は朝鮮總督齋藤子爵、撰文館森鴻氏、書瀧谷正美氏で何れも後藤伯に縁故深い人達である銅像周圍の磨き御影石は總て岡山産で銅像を中心とした造園は滿鐵地方部の安藤公園係主任の設計監督、園内の黒御影石は萬家嶺産で水の乏しい滿洲に水をあしらつて池や噴水、溪流等を施設された、さは大連市民にとつて最も喜ばしいことであらうといはれてゐる

寫眞說明

（右）霞ケ岡に聳え立つ故後藤新平伯の銅像と遺族嗣子一藏伯、令孫、鶴見祐輔氏夫人靜子さん、並に製作者朝倉文夫氏（左）除幕式參列の太田關東長官、仙石滿鐵總裁其他（下）は銅像見物の人々

在滿邦人は存外萎縮 三重縣議員一行の視察談

三重縣々會議員一行十三名は滿鮮各地を視察し十二日午前十一時出帆の大連丸で青島に向つたが、大野團長は語る 滿洲の産業狀態を視察して廻りましたがもつと盛んなものかと思ひましたが案外邦人は萎縮して居る樣に感じました當地は内地に比して勞銀も安いんですから各種の事業にしろもつと盛大にやつていけるだらうと思つてゐたのです、事實、紡績業にしろ本國では勞賃や何かの關係で此頃企業家は損をしてゐますが植民地の勞賃の安いところは漸く儲けてゐる位ですからね、私は資本家が當地の勞働狀態なんかを調査するより勞働者側がもつと進んで調査し自覺して貰ひたいと思ひました

市役所主催の體育ボール大會 學生も先生も大元氣 けふ午前中の成績

大連市役所主催の體育デーの催したる大連市民體育ボール大會は十二日午前八時より大連運動場において擧行された、定刻田中市長開會の辭を述べ直にフィールド内に設けられた十二面のコートで競技されたが參加チーム三十六チーム總出場人員六百名の大多數とてゴッタがへす樣な騷ぎは、毛色の變つた出場チームは大連醫院の先生達北川醫學士を主將に應援の看護婦さんも黄色い聲で飛びつしよりその他日本橋小學校、一中、二中、彌生の先生達も生徒達の向ふをはつて大元氣、ただしプレーは餘り香しからず却つて生徒達にコーチされる始末、一中對大連商業等の好試合で喚聲わき體育デーの催しとして甚だふさはしい、午前中の戰績左の如し

◇一般の部 第一回戰

第二埠頭 2（21—15 21—7）0 瓦斯會社
滿鐵販賣部 2（21—7 21—17）0 滿鐵經理部
理學試驗所 2（21—13 21—16）0 滿鐵用度
大連醫院 2（21—16 21—11）0 第一埠頭
彌生高女職員團 2（21—14 21—14）0 伏見臺小學職員團

◇一般女子之部

滿鐵婦人協會 2（21—20 9—21 21—18）1 理學試驗所女子

◇學生男子之部

A第二中學組 2（21—5 21—6）0 A第一中學組
工專 2（21—17 21—11）0 B第二中學組
大連商業 2（21—13 21—12）0 A商工學校組

◇學生女子之部

A彌生高女組 2（21—13 21—17）0 C羽衣高女組
D彌生高女組 2（12—21 21—15 21—20）1 C彌生高女
E彌生高女組 2（21—9 21—13）0 A羽衣高女組

第二回戰

大連醫院 2（21—10 21—10）0 線路會
第二埠頭 2（21—14 21—12）0 理學試驗所
彌生高女職員 2（21—19 21—20）0 大廣場クラブ
滿鐵販賣部 2（21—12 21—15）0 黄塵クラブ
滿鐵審撰 2（21—15 21—5）0 鐵道審査
二中職員團 2（21—15 21—15）0 日本橋小學職員

◇女子學生之部

B彌生高女組 2（21—13 21—10）0 B羽衣高女組

散歩漫歩の日和に どこも此處も夥しい人出 星ケ浦、電氣遊園、大連運動場等々

涼爽の秋も今日の日曜日が絶頂、肌觸りの快よさに捨て兼ねたセルの裕も、ハイヒールで鋪道を高らかに踏む秋の洋裝姿も忍びよる初冬の氣配に脅かされる頃が近づいた、今日の日曜こそは逝く秋の送葬曲を奏るピクニツク、散策、郊外漫歩の千秋樂とあつて、市民の脚はひとりでに室内から戸外の陽光に吸ひ寄せられたやうだ、老若濃厚、獵衛方面のモダン・バンガローから、さては星ケ浦邊の破風造りのドアから三々伍々家族を連れた勤め人を始め冬物の仕入れを濟ませた下町商家の着流し連がどれもこれも秋の最後の日曜を樂まうと電車で徒歩で、自動車で、思ひくの方面に出かけた鑑納の白業を碧の冴えた汀に散りばめた星ケ浦一帶の白沙長汀は後藤伯銅像除幕式歸りの人々や、若き海邊一ぱいに撒き散らす美しい一對の群で暢びりした散策氣分を漂はせ愛嬌者の動物で人氣を呼んでゐる電園には良きパパ、ママ、の片腕を占領した坊や、孃ちやん連で雅ないアトモスフイアーを浸み出し冬木立の寂しい裝ひを覗かせてゐる、中央公園の樹林には秋の點景に熱心する風流畫士の影がちらほら、魁けて秋の點描を極彩色な紅葉に觀賞する人々の群は、秋風に乗つて金州、旅順のドライヴにエンジンをひゞかせた、西郊大連運動場でも戸外スポーツの最後の閃光を今日一日に迸しらせ、體育ボール大會、籠球戰等に欣躍の秋の華々しい光輝を放つてスポーツフアンに本年最後の呼掛けをなしてゐる等々、澄切つた晴朗の大氣と裕着の懷しさをいつくしむ人出に今日の日曜は賑はつてゐる

故後藤新平さんを語る（C） 上田恭輔氏談

二十年も三十年も先の見える偉人 一度び仕事を人に任せたなら決して干渉をせぬ太ツ腹の人

◆…私が後藤 伯を知るやうになつたのは洋行中の明治卅四年ごろからでそれから伯の晩年まで公私共に色々と關係がありましたので隨分長い間です、だから話と言へば限りがありませんが結局廿年も卅年も先の見える偉い人でした、現今の滿鐵設立の計畫だつて日本が新義州を落した時早くも伯はそれを計畫してゐられたやうです、その後奉天陷落と同時に伯は來滿、親しく滿洲視察を遂げられたのです先づ伯の滿鐵での事業中で最初の大工事は鐵道の廣軌式改造でしたが、その前に伯は事業資金として英國で公債二億圓の募集に見事成功百何十臺といふ機關車、何千臺といふ貨車、客車等計五千萬圓もの大注文を米國と契約し在任中にこの仕事を完了されたのです。

◆…その時に 然し公債を引受けた英國から「なぜ英國に注文してくれなかつたか」と强硬に抗議を申込んできましたが、その時の伯の返事もこれだけの大量の注文を一時に引受け早速間に合はすことの出來るのは米國だけだからと極めてはつきりしたものでした、その後は小口でどもあつたので英國に注文しましたので現在滿鐵の機關車等は英米兩式ともあるわけなのです、その鐵道建設以前に最初に設立されたのがホテルで大連、旅順、奉天、長春の四ケ所ですがその計畫には佐藤安之助君が與つてゐます。

◆…何分當時 は創業時代でありましたし滿鐵の地方部長が關東都督府の警視總長、副總裁が民政長官、總裁が關東都督府顧問と言つた風に殆んど兩方一體と言つた形であつたので仕事等もドシく運んで行つたものでした、然し現に創業時代に比べますと今日の發展には驚かされます、滿鐵設立前は市役所から大連神社の邊まではづつと川で今の敷島町は川を埋め立てゝ造つたものです。此のヤマトホテル等は小山でした、また日本橋からこちら（ヤマトホテル）にかけては一向に人が住まはないので伯は色々考へたすゑ當時ロシヤが學校敷地として基礎工事だけを終つてゐた淋しい人里離れた處に滿鐵本社を作られたのです、それが現在の滿鐵です元來ロシヤは人口四萬を標準としてダルニー市を建設したのですが日本は最初から四十萬人を標準としての計畫でしたからこの點日本の方が先見の明があつたと言へます。

◆…また戰爭 直後ダルニー市の建物として殘つてゐたのはロシヤ町の一部の建物だけでグレート大連の建設に對しては日本はロシヤから何等の恩惠も受けてゐないと斷言できます、伯の性格として申しますと伯は何か言へばすぐ仕事にかゝらなければ承知出來ない人でした、自分が言ひ出せば早速仕事に取りかゝる、また人に言ひつけたり人が言ひ出したことを「うん」と言へばすぐにその人にやらせた人でした、その代り一度或一人の人にやらすと決めたら總てをその人に任し、信じて一口も差出がましいことを言ふ人ではありませんでした。

コロンビア號目的地へ到着

【クロイドン十一日發電通】大西洋横斷飛行に成行しシシリー群島トレスコに不時着したボイド大尉（ハリー中尉のコロンビア號は十一日午後一時トレスコ發午後三時五十五分最後の目的地たるロンドン郊外クロイドン飛行場に着陸した

青訓軍勝つ

大廣場青訓對準鐵滿洲所スポンジ野球試合は午前九時から大廣場校庭に開始八A對六にて青訓軍辛勝す

やなぎ會溫習 會日延べ

大連劇場における大檢北村席やなぎ會溫習會は十一日の初日以來大向ふの人氣を煽り立て、二日目三日目共に滿員札止めの盛況を呈し不景氣風を吹ッ飛ばすほどの凄じさだつたが、此好成績と一般の希望によつて打上げ豫定期日を一日だけ延ばし明十三日を千秋樂にした、當日の出しものは初日以來一般觀客から賞讃を博したもの、みの拔萃上演でプログラムは左の通りである

▲三番叟▲新鹿の子▲鷺追ひ▲唐人お吉▲藤娘▲玉兎▲都鳥▲多摩川▲吉野山▲聚樂邸▲三條大橋▲奴道成寺▲民謠、童謠（前日に同じ）

大連工場の火事騷ぎ 大事に至らず

十二日午前九時五十分ころ市内沙河口霞町滿鐵大連工場内動力室にある送風器タンクが突然過熱したため室内にある鐵管安全瓣が破裂して同所より一齊に火を吹き出し附近にあつた防寒具に引火したが從業員の必死の活動によつて大事に至らず直に消し止めたが、十二日は日曜日にもかゝはらず作業中の上に同所は工場内の動力送電部で各作業所の中心部をなして居るため一時はなかくの騷ぎであつた、原因は目下詳細取調中

十四小學校の陸上競技大會 十三日大連運動場で

大連管内十四小學校では來る十三日の戊申詔書下賜記念日に大連運動場で綜合陸上競技大會を催すこととなつた、參加學校は各校の尋常科生徒のみで種目は五十米、百米二百米のランニング、四百米、八百米のリレー、走幅飛其他である、尚競技は當日午前九時開始午後三時閉會すると

日曜と秋晴れに煖房展賑ふ 會場は押すなく あすが愈よ最終日

本社主催煖房展第二日はカラリと晴れきつた秋日和と日曜日といふ良きコンデシヨンに惠まれて朝から觀覽に押し寄せた人々で會場は賑やかさに充ち溢れてゐた、會場前には俥、馬車堵列を作り、會場附近一帶は百數十箇の煖房器が發散する放熱で陽春六月の暖かさ道に夫婦子供連れの觀覽者が多く二十幾軒の陳列を克明に廻り歩いてアレヤこれやと研究し其場で備へ單に冬籠りの仕度をすませてゆく手際よさだ、出品者が氣を利かした凍豆おしるこ、甘酒の燒立ては子供連れの觀覽者の大向ふ受けを得て模擬店は押すなくの大繁昌振り、雜沓する人混みを分けて繊いテムポのビクターが流れる、こんな好評もこの日曜日あたりが最後だらうが煖房展も明十三日限りで了る、最終日の賑はひが定めしと豫想される

軍刀に お別れの會 けふ西本願寺で嚴かに執行

佩刀角橋紋入りの軍刀に絡まる征露役のエピソード、現在の持主近江町岩田千代松氏、陸軍省へ事局長古莊幹郎氏等の熱心な努力が酬いられて、同軍刀の所有者であつた故吉村民中尉の遺族吉村博氏が判明したので岩田氏は最初の豫定通り紙上でこれを遺族に引渡すべくそれに先だち十二日午前十一時より市内西本願寺において「軍刀にお別れの會」が催され併せてとき吉村中尉の魂魄を慰むるところあつた、此の日山梨縣人會、廣島縣人會並に町内會初め岩井少將、寒川飛行場長、若月市議、大石阜道會及會長を初め軍部關係並に新聞關係者等參列讀經燒香のうちに頗る盛に行はれた

大奮發の親玉

目下募集中の「評判講談全集」は今や天下の大評判！これが一圓とは實に安いと見る人悉く驚嘆！申込金不要！誰方もすぐお申込み下さ、早いが勝です。

世界中の家庭藥

秋から多へガサ〳〵の荒れ肌と自然の玉の肌との分岐點はメンソレータムを使用するか否かにあります　常用されて玉肌の持ち主となつて下さい

特効　ヒヤケ　霜ヤケ　アレ止　外傷一切　やけど　頭痛　神經痛　齒痛　痔………　化粧下と白粉落しに　顔そり後の消毒保健

價　二十五錢　四十五錢　九十錢　一圓八十錢

十德

【一】寢る前にライオン齒磨をお使ひになりますと、身も心も淸々しくなつて、朝までぐつすり寢ることが出來ます。

【二】寢てゐる間に活動するムシ齒の細菌を弱らせますから、ムシ齒の發生を防ぎます。

【三】朝起きた時、口の中が粘らず、大に爽快に感じますので、其日の活動を愉快にさせます。

【四】晝間、口腔に侵入した結核菌、肺炎菌、流行性感冒菌などを取去つて、種々の傳染病を豫防することが出來ます。

【五】宿醉の苦みを去り、又喫煙の害を除きます。

【六】特に子供のムシ齒を防ぐ威力を持つて居ります。

【七】種々の原因から來る口中の惡臭を除き、呼吸を爽にします。

【八】扁桃腺炎その他口腔の病氣を豫防します。

【九】神經を鎭めて記憶力を增進させます。

【十】齒齦や口腔の組織を健全にして、發聲を美しくします。

69—5.10

びみじよう ぶどう酒
赤玉ポートワイン

呼吸の　よく整調された人に病はない　さうです　朝夕一杯　小やか乍らも一定量の赤玉を貴下の躰に送つて　そして夫れを整然と月餘も反覆して御覧なさい　貴下はキット貴下の躰の　既に全く鍛へられた鐵であることをそこに發見されるでせう

127

愛用者御優待　大懸賞　レートクレーム

すばらしい！すばらしい賞品です

入賞五萬八千餘名

賞品金一萬餘圓

すばらしい賞品

等級	賞品	人數
一等	勸業債券(廿圓券)	貳拾名
二等	婦人用金側腕時計(最新流行)	參拾名
三等	婦人用金指輪(カマボコ形)	五拾名
四等	貯蓄債券(五圓券)	百名
五等	美術金具附帶止(レート特製)	貳百名
六等	婦人用ハンドバッグ(レート特製)	參百名
七等	レート進物函(定價壹圓)	五百名
八等	レート特製半襟(京都本染)	貳千名
九等	レート石鹸(定價廿錢)	五千名
十等	レートメリー(携帯用)	五萬名

などたにも出來る問題

◆風車バヅル◆

上記の圓形を番號順に左へ廻り乍ら方則に從ひ空いたところへ假名を一字づゝ埋めて下さい……四つの名が完全にお出來になれば合格です

◈答案は必ず楷書でお書き下さい
◈正解者多數の時は嚴正抽籤の上順次等級を決定
◈入賞者には左記の賞品贈呈
◈賞品の荷造費送料等は全部當方負擔

締切　昭和六年二月末日
發表　同年三月末日　各新聞紙上

面白い！やさしい問題です

【答案用紙】レートクレームを入れてある函をそのまゝ開いた裏の白地に左の順序で答案をお書き込み下さい(他の用紙にても可)

【答案の書方】
◎1 何々
◎2 何々
◎3 何々
◎4 何々
(名前だけで…圖を書く必要はありません)
◎レートクレームをお求めになる店の所と名
◎この廣告を御覧になつた新聞の名…あなたの御住所とお名前
以上をハツキリと分りやすくお書き願ひます。

【答案送り方】答案のアキ函は開き封にして貳錢切手をはり下記へお送り下さい。(三十匁迄貳錢)

【販賣店でも】アキ函の答案を本舗へお取次ぎしますから、あなたの答案をレートクレームお求め先きの店へおとゞけ下さいましてもよろしいのです……

◆答案の送り先

(東京の方は)東京市日本橋區馬喰町　平尾贊平商店懸賞係
(大阪の方は)大阪市東區南久寶寺町　平尾贊平商店懸賞係

若々しくする保健美肌料

レートクレーム

藍色と淡緑の包裝函入　三〇錢・四五錢・七〇錢・一圓四〇錢

つけ心地さらり、と快く……すぐにお肌に溶け込み……色白なお美しさとする……無脂肪(バニツシング)クレーム

絶對に不純物を含まず全部が肌の榮養となり、脂肪をおさへニキビ吹出モノを豫防し、色白くキメ細やかな美しさとし、色艶を若々しく保ちます。

素化粧に……粉バキ化粧の下地に……日ヤケした肌の美白に……男子方のヒゲそり後に……保健美容効果滿點。

肌を美化する榮養クレーム

レート・ハイゼ・ニツク・クレーム

橙色と黃色の包裝函入　一個……金五〇錢

お肌に十分の榮養を與へ夜のクリームとしていんからの美肌とする……脂肪中性(ハイゼニツク)クレームです。

純良脂肪に美容藥物を配合した榮養料、水々しい柔肌とし、夜お休みの前に少量をおすり込みになれば睡眠中に十分の美化作用を發揮いたします。

外國製のナイトクリームに優り……お肌を柔げキメを整へアレを止メ…淡化粧の下地に第一

皺取り美容マツサージ用

レート・コールド・クレーム

藍色と淡紫の包裝函入　一個……金五〇錢

美容術用マツサージ用として肌を淸らかにし……垢ヌケた美しさとする……脂肪性(コールド)クレーム

本品の少量をつけて指先で擦りますと毛穴の中の垢アブラ白粉などをきれいに除き、同時にキメをととのへ、垢ヌケのした美しいお肌と致します。

強力なアレ止メ作用をそなへ……濃化粧の白粉下地として化粧榮えを倍に致します。

『美の創造』三部曲完成！

レートクレームとその姉妹品二種(新製発賣)

家には國旗と國産品　國産美容料の代表、

1967

文藝

迷惑至極 ――武田尊市君を戒しむ――（上）

城所英一

1

池内赤太郎君の驚き心醉者武田尊市と云ふ人とは一面識もないが他の名譽毀損を故意に企圖して人を傷けるに手段を擇ばぬ非常識さその卑劣なる心事とは默過し難く德義上許すに忍びざる所業である故、些か反省を促して爾後を戒めて置かうと思ふ。

2

君の文章は、城所が池内君に送つた手紙――既に一年有半を經過せる――を探し出して「云ひがゝりの種」にしてゐるゆゑ先づあの手紙の性質を分明にして置かう。

第一――昨年卽ち昭和四年五月「滿洲短歌」が創刊された時池内君はわざ／＼城所らの勤め先を訪れて「滿洲文藝の爲め大いに慶賀すべきである云々」と我々が恐縮する程な祝意を表明して吳れた。その好意は今だに深謝して居り、書面脫稿――先日は失禮しました――と挨拶した通り、その日來訪を受けたのである。

第二――に我々は誰にも師事してゐないので、不斷努めて良き批評を傾聽しやうと心掛けた（くだらぬ批評は論外たる事勿論である。

第三――池内君は古くから歌道にいそしんで居る人だといふ事を聞き知つてゐた。そこで一應先輩として敬意を表すべきは正しき禮儀だと心得た（しかしその敬意が何故消滅したかは後段に述べる）

第四――方々に創刊號を寄贈するに當り（第二）の理由に基き城所ら同文の――卽ち創刊號に對する批評を乞ふ意味の――書信を多數の人々に發した（特に池内君一人に宛んだのではないのである）

第五――もとより書信であり、もとより儀禮である。敬語を使つて辭を低うした文面となるのは當然至極であらう。我々は斯くて立派に禮を盡した。

以上明瞭な五項目によつて、如何に曲解好きな若くば粗忽者の武田君にも、あの手紙の性質だけはひと通り吞み込めたであらう。然らばあの手紙は既に骨董品であつて現在に何等の脈絡もない點を次に明示しておかう。

3

發信後（卽ち昨年五月頃）他の人々と共に池内君も早速返書を吳れた。その好意は有難く享けて今も謝する所はない（但しその批評なるものは純然たる批評でなく懇切叮嚀にも「萬葉集の精神を學べ」と我々に敎へてかゝつたものであつて、甚だ申譯ないがそんな「歌道入門」なら我々一同既に十年も前から存じてゐる。今更長々と池内君から教へて貰はふとは非常に意外であつた）が、ともかくその好意には感謝した次第であつた。

此の返書到着と同時に、あの手紙の使命と任務は完全に終つた。……とのみ正確なる常識を以て判斷してゐた。詳しく云はうなら、城所の書簡は池内君の返書卽ち批評を懇請する爲に役立つものであつて、要請通り創刊號の批評（らしきもの）を頂き得た事によつて書簡はその瞬間謂はゞその效力を失つたと見做さるべきである。後の爲に注意してほしいのは、毎號若くば一年後十年後或ひは臨時の批評を依賴した文書ではないのである）

然るに一年有半を經た今日、突然實に意外にも斯く既に用濟みとなれる書信が、自分とは何の交涉もない武田君の手によつて麗々と公開され、しかもそれとは何ら脈絡なき事の引き合ひに利用されるなど驚き入つた次第である。

4

心あらば武田君は左の三項を熟讀して三省悔悟、且早々陳謝すべきであらう。

第一――いやしくも人を論難攻擊するには双方の事情を冷靜に糾明してかゝるべきである。然らざる輕率なる云ひがゝりによつて徒らに他を陷れむとする君の人格敎養は當然疑はるべく且責まるゝに充分であらう。

第二――全然無關係の第三者たる君は如何なる權利あつて、一面識に斷つて他人の私信を數萬公衆へ公開したか？國家の法律にさへ親書の秘密は重大に扱はれてゐる此の非禮を敢てする君の沒常識は社會道德上許され難き罪惡たるを知らぬか？その引用を是非とも必要とする公益い論說にならとも角全然人を誣ひむが爲、卽ち卑怯なる目的の前に手段を擇ばざる心事は唾棄さるべきであらう。

第三――君の文章を熟讀するに君の言はむとする點は「城所は池内君に對して敬意の拂ひ方が足らぬ。もつと禮拜せよ」と云ふに在るらしい。莫迦氣切つた注文である（この點は、に於て答へるが）果して然らば何故明確に池内君の偉き點を披露し。城所の至らざる點を――勿論短歌を基調として――指摘し以て城所並に讀者を肯定させぬか、それをなさず、謂はゞ時效にかゝつた同じ他人の信書に牽强附會なる難解をつけて云ひがゝりとなし自らの不利を蔽ふに役立たしむるなど、ゆすりかたりにも等しき陋劣なる所業であらう。併しそれが却て劣等なる君の人格を白日下に曝す逆效果となつたのは氣の毒に思ふ。

5

が、世には斯樣な若々しい奇怪事も往々存在する最近論壇に顔なる齋藤茂吉氏と太田水穗氏の間にもこれと全然同一の事件が問題となつてゐた。卽ち太田氏が苦戰を糊塗する窮餘の一策から、茂吉氏が太田氏に與へた十七年前の私信（ハガキ）を探し出して來て引合ひに出し茂吉氏を誣ふべくそれにいんねんをつけた心事は、當の茂吉氏ならずとも誰人もが太田氏をペテン師欺瞞漢と侮蔑したくなるではないか。その太田氏の弟子ならば醜亦醜に倣ふも不斷でないが生憎池田君武田君ともに揃つて茂吉氏の「アララギ」末席に連る人たちであるのは皮肉な現象である鼠輩希くば汝らの宗名を穢すなかれ。

武田君が引用した書簡が如何なる動機に出たか、如何なる性質のものであり且如何にしてそれが既に無效であるか……這般の關係はこれで十二分に判つたであらうから次の問題に移る。

秋の太子河（二）

淺枝次朗

白石拉子

朝霞寺の朝景色はよかつた。早朝出發、のらりくらりと秋の河沿道を下る。こゝらあたりから山が狹つて、河は幾つもの曲線を描いて流れ、瀨あり淵あり岩あり、變化に富んで面白くなる。下瓦子峪に入る前初めて丸木船の渡船を渡る。村を過ぎると道は斷崖に行き詰つて丘に登る。斷崖の下には靜かな淵が長く續いてゐて素晴しい景色だ。

園内秋景 稻葉亨二氏作

池内氏と城所氏の對論に就いて

若林初枝

此の頃の、お二人の對論に就いて最も心を痛めてゐるのは或は私ではあるまいかと存じます。默つて、知らぬ顔ですごすのは、辛くなつて來ましたので、つひ此の筆を執つて了ひました。

前おきとして、皆樣との關係を述べさしていたゞきます。

今度の關係の方々の中で、最も古いお馴染みは、伏見臺高等小學校の同窓の先輩、城所さんでございます。丁度、十年前、早稻田城所さんや富田さんが、「未踏路」と云ふ同人雜誌を出してゐられるのに、途中からお仲間入りさしていたゞきまして、その他へ詠を置いてゐられる項時々短歌を載せていたゞいて居りました。

當時東京在學中でございましたが、その以前、長崎高女時代から同市發行の「アコウ」と云ふのに詠をおいて、たまに「アララギ」に採つていたゞくので、稀有の欣びとしてをりました。「アコウ」は大正十年私上京後二年位してから、經濟上？中絕しましたが、創刊は、齋藤茂吉先生が長崎醫大になられました頃、土橋□先生を主幹として始められたものでありました。齋藤先生の「あら玉」御愛讀の當時であります。

その後、結婚致しまして間もなく得利寺へまゐりまして農場を經營する樣になりましてから「アララギ」の先輩、池内忠義氏（兼ては先生とお呼び申てなります）が滿日の短歌欄の批評をしておいでになるのを拜見しまして、ぶしつけにも、紹介者なしに一書を呈し、御高教御叱正を仰ぐ事を得まして、爾後、御面倒を十首、御朱筆をいたゞいてゐる次第であります。

後「荒栲」の出るに及びまして末席にお加へをいたゞきまして勉强さしていたゞいたのでございました。

このグループでは、やはり池内氏が先輩として重きをなしてをられたとおもひます。

「荒栲」が、三年前、經濟上の運びで中絕致しました後に、當時の同人の一人であらはれました武田市氏が、私の縁戚となられました。此の事は私の大きな喜びでありました。

「滿洲短歌」が起ります時も、城所さんがお誘ひ下さいましたので「荒栲」時代の知友を、私の力の範圍でお勸めして、加はつていたゞきました。池内氏、武田氏、を初めその他の歌友を語りました。お二人のお歌を「滿洲短歌」誌上で初めの頃に拜見する事が出來ます。□口さり子樣は、内地へ御歸國の事とて、私がお誘ひ申したのでございませんが、お名前を拜見しました時は嬉しうございました。

城所さんが、池内氏へ、あゝいふ私信をお上げになりました事はまへの事と存じます。

それに對して、私信として御批評に對する御挨拶が城所さんのお手許に届いたといふ事を最近他から承りましたが、私は遠方へ住居してなりますまで存じませんでした。未だそれが殘つてなりますなら今後機を得て拜見さしていたゞき勉强に資したいとおもつてをります。

處が此の頃、池内氏が滿日の文藝欄へ歌評をお受持になられましたそうで、滿洲にはめつたにない嚴しい御意見が載る樣になりましたので、私は陰乍ら有難くおもつてをりました。

池内氏の御批判ぶりには、どうしても氏の御性格から割り出されたものが表れますから、受けやうに依りましては「あまりに分析的だ」とか「あまり理窟っぽい」とか言ふ方もありますがそれはめい／＼の受け容れ樣に依る事で、その言を生して自分の參考とする加減は、各々の自由なのでありますから、首肯し難い御意見はそのまゝ保留にして、なつとくのいく點だけ採り用ひれば宜しからうかと存ぜられます。

「自分は斯う信ずるが、池内氏はあゝお感じになるのかな」とおほらかに考へてゐれば濟む事だらうとおもひます。

「そんなに悠氣にはしてゐられない。是か非かはつきり決けなければ胸が收まらぬ」と云ふ御氣性の方は、どうもお生れつきで仕方がありませんから、批難をした方へ大いにぶつかつて、充分御研究なさるも結構でございませう。

然し、それは、どこ迄も「歌」そのものについての研討であられなければならぬとおもひます。そこに感情の激昂を混へて、歌を詠むには何等關係のない「馬鹿」とか「阿呆」とかいふ樣な、罵言を用ふる必要は全くないとおもひます。

「言靈」の如何に大切であるかを最も痛切に感得してなければならぬ人々が、世間一般の人々の間にさへめつたに用ひぬ激しいよくない「言靈」を用ひるとは、以ての外の事であらうと存じます。

どうかお互に、相手の反省をうながすに、最も有效な「言靈」を擇び用ひて、ゆめ／＼自分の價値を暗らしむ荒々しい「言靈」は用ひぬ樣、歌人らしい、はたから見てゐても氣持の良い論戰を致しませう。

飛行士（六）

ヴ・イテイン作　浦路觀譯

エッツは左手に强い衝動を感じた、彼は無意識に舵を引いたがその瞬間自分の飛行機に致命的の損害を受けたことを知つた。それは舵のつながりが切れてしまつたので、彼は今でも墜落の當時を思ひ出すそれは一瞬間、一瞬間と落ちてゆくのだ、際限なく那落に落ちてゆくやうだ、彼の飛行機は秋の木の葉のやうに、水平に降つたり又モンドリをうつたりして落ちて行つた、機體の爲めのマスコットを持つてゐた獵り息子の兵隊の人形は相變らず隣の方でさても强さうな顔をしてにらんでゐた、地上は艦に映した風景のやうに見えたりかくれたりしてゐた、最後に縮の目まぐるしい地上二三十米突の所で今一度機體は水平になつたが次の一瞬間には恰も地中にめりこんでしまつたかのやうになたつが潤暗になつてしまつた、彼は一生懸命になつてこの黑い土をかきわけてやうやく地上にはい出し空や白い雲などを見たと思つた時にはこれは雲でもなんでもなくて彼は白い着物やホウタイや白いシキフやにつゝまれて大地のやうに動かすことの出來ない自分身體を發見した。

――いや、僕はよく覺えてゐます、九日の未明でした――

――そうです朝でした――

――若しやあの時死んだ戰士な貴方はご存じではありませんか？

――何か記憶があるやうな氣がします――と云ひ乍らエッツは聽を上げたが――でも凡ての人を覺えてゐる譯にはゆきませんから――と云つた。

――私はこんなことを考へます飛行を續けてゐる時に若しやあの人の母か妻か兄弟かの遺族が私を見てゐるのではあるまいかとネ――貴方はそんな經驗はありませんか？

――そんな問題に行きつかふとして私はこの話をしてゐるのぢやありませんのに――

――あなたはこんな問題は好まぬと云ふ譯なんですか？

――いや、そうぢやありません……貴方はそんなことは現に角、……でもそれは九日と云はれましたネ、でもそれは舊曆でせう？

――ア、そうです／＼、その時分はまだ舊曆を使てゐました、

――すると二十二日の朝ですネ

――エッツは何を考へたのか急に立ち上つて

――ニーナと呼んだ。

又人々の話聲や笑ひやビンの栓をぬく賑々しい音の中にこのミワタ嬢の名が不似合に響いた。

――この婦人はロシヤ人です、どうぞ御知り合になつて下さい、私は殘念乍ら失禮せねばなりませんのに――一寸出て來ますから……

チャンツエフは女と時計とを七分三分に見てゐた。

――僕ももう出掛ければならぬ出發は六時だから。

――何處へですか――とダンサーはこれと言つた。

――飛行だ……

――そうだ、貴女のお相手はこのエルテイシエフ君がつとめるよそれでいゝだらう？あいつはネ、共產黨員で面白い奴だよ。

エルテイシエフはあまりうまくいつたので自分を信じられない位だつた、彼はチャンツエフを見返して

――宜し、君は睡むければ飛行機の中で寢てなけ――

職人は別れた

私達の繪畫展と版畫

稻葉亨二

秋には是非やらうと永原綱治氏と固い約束を交しておきながらつまらぬ雜事に身を委ねてさうさうサボつてしまつた。從つて今度の繪畫展としては寧ろ永原氏の作品を主にして見ていたゞき度いぞ。の一點をとつても表現的なテクニークや鋭敏なツーシュは見られない。飽くまで眞摯でグン／＼突いてゐる。勿論氏の今回の作品はエチュードかも知れないがおそろしく伸びて行く未來性を多分に含んでゐる。

ボク一個人のものは永原氏の和譯――私は日本畫をそう呼んでゐる――とは方法も違つた版畫である。

版畫に就いてはその歷史的推移や用材用具其他に就いて詳述したいが茲に餘白がない。たゞ版畫について一言したいのはその刷りのテクニークであるが西洋式のビュランを用ひて木口に彫る木口木版のやうに主としてローラーで刷るものにはそれほどまでに重要視されない刷りの技法が我が國のバレンを使ふ板目木版にはおそろしく重要視されるのである。事實この刷が木版畫の效果の八分通りを占めてゐるとまで極言する人さへある。

どの部分をどう云ふ風に力を入れどんな風に廻して刷るとか云ふた風なことが繪によつて決定される。作者は又作者で獨特の刷り方を作り出してそれぞれの創作版畫に微妙な味を出さうとするのである。鑑賞者がややもすれば見落し勝ちなこの刷りのテクニークはもつともつと一般から價値づけられなければならない。

私は彫刻刀、剛透、駒透、丸のみ、三角のみ等は堺のものを使ひバレンは東京から本職バレンをとり、用紙は、古代、越各奉書、西ノ內、鳥ノ子、細川、程村等、倚コットン紙もつかつて見た。板は櫻と桂を主にしてゐる。勿論板目である。繪具は主として泥繪具、水彩繪具であつて、油繪具や石版用の粒子の極こまかいハフトシイクを用ふることもある。ブラックエンド、ホワイトのやうに十度位迄刷り重ねなければならないものには特に石版用インクがいゝやうだ。普通はランプブラックよりもアイヴォリの方に魅力がある。私の單色一度刷りには多く乾墨を使つた。

私達は繪に就いては一言も語りたくはない。たゞ作品を見て貰へば結構である。そして一人でも眞摯な鑑賞者、批判者を得ることが出來ればそれだけでも報いられるであらう（一九三〇・十・九日）

死相

白藤六郎

鐵橋の廊下に、或は街上のゆきづりに、僕は屢々人間の恐怖すべき死相に面ることがある。

それは、針のやうに尖銳な第六感の暗示と、過去の經驗から來る觀察とからだ。

僕は屢々、全く屢々だ。さうした人達に逢ふ毎に、慄然として足を停め、温かい警告をしてやらうとしては躊躇する。何故なれば、僕の警告は、實にその人にとつて死の宣言に外ならぬからだ。

さ、書いたからとて、僕は決して、豫言者でもなく、星を數へる占術師でもない。

「貴下はこの二三日の、貴下の生活の觸手にお氣をつけなさい。妙なとが貴下には待つてますぜ」

「………？」

魂消るやうな仰山な顔をしてその人は僕を凝視めるだらう。

「そ、それは何故です？」

「貴下の眉の線から、口邊の下部に向つて、陰慘な線が現れてゐるからです」

俄然その人は顔色を蒼白にして双掌をその顔に押しあて乍ら。さうらうとして去つて往く。

僕は最近、さうした僕の妄想的な夢を、生々しい現實にまじ／＼と觀たのだから悍く。

うらゝ丸だつたらう……あの喧騷な埠頭の出迎へ人のなかに僕の姿が混合つてゐた。あの巨大な煤煙にくすぶつた船の三等艙室から一人の男が影のやうに出て來た。僕はその男の顔をみるなり總ち顔が硬直した。僕は探偵のやうにその男を尾行して埠頭を出た。

みづ／＼しい晴れた空から、私ゞ秋を感じるやうな晴だつた。

影のやうな男は、馬車に乘つて聖愛病院の前まで來た。と、馬車を停めて頻りに、あの丘上の瓦斯所の赤い旗を眺めてゐた。

間もなく僕は、あの瓦斯所の丘の中腹に腰をおろして顔んでゐるその男に話しかけた。

「僕はずつとあの埠頭から、君のあとをつけて來たんだが、何だつてこんなところに顔んでゐるんです？」

「………」

男は無氣味な顔をして僕を見た。と、ありありと顔面に嫌ろしい死線が恰で魔の影のやうに走つてゐるのが窺へた。

「……僕はこの丘がすつかり氣に入つちまつた。好いね。君はどう思ふ……」

瘦身の割合に驚くほどのバスだつた。

「僕――僕も此處は昔から好きなんだがね」

「話せるね、君は……見給へ、このゆるやかな丘の曲線さ、ゴチック風の建物さ、實に瘦せた鐵柱さ赤い標識さ……恰で女のやうぢやないか……」

「そんなことより君は今、恐ろしいことに直面してるよ」

「僕が――」

男は瞬間緊張した。が、また忽ち元に復した。そして一段と力をいれて

「君が僕に云をうとしてゐることは僕にはちやんと解つてゐるよ君は僕の死相のことを云をうとしてゐるんだらう」

闇星を指されて僕はギョッとした。

「ど、どうして君に夫が分るの？」

「何でもないさ……僕はれ、ぢや打明けやう。實は東京の震災で女房を失つたのさ、だが……僕には女房が震死したやうには思はれないんだ。僕はあの日、島渡所用があつて新宿へ出掛けてゐたのさ、あの騷ぎだ。早速淺草の家に歸つてみると女房はゐないだが、中壞になつた家に這入つてみるとお晝の食膳がそのまゝになつてゐるんだ。いゝかい君、その食膳がれ……奇怪しいと思はれることは食事の用意が二人前してあるんだ二人前と……だから僕は女房が生きてゐるやうな氣がしてならないんだ」

「で、今でもその人を君は探してるんですか」

「まア僕は謂はゞ○○○○○○○さ。然し君――この丘の風致は素晴らしいれ、全く……女のやうな匂ひがするよ」

影のやうな男は寂しさうにかう嘆つて、眼上の瓦斯所のはためきに擬手を翳して眺めてゐた。颱風襲來の兆があるか、暫くして瘦せた鐵柱に赤い警戒旗が亦數を增して行つた（完）

露西亞語講座

ПЯТЬДЕСЯТ ПЕРВЫЙ УРОК.

А.—Скажите пожалуйста, есть ли в Дайрене хорошая кондитерская.
Б.—Да, в Дайрене есть очень хорошая кондитерская.
А.—Скажите пожалуйста, как она называется и где она находится.
Б.—Она называется "Викто", а находится она на углу Киимачи и ямагата дори.
А.—Большое спасибо.
Б.—Нестоит.
А.—Скажите пожалуйста, есть ли у вас хлеб.
Б.—Вам какой белый или черный.
А.—Того и друго мне нужно по два фунта.
Б.—Пожалуйста.
А.—Сколько вам следует.
Б.—Всего двадцать две копейки.
А.—Вот, получите.
Б.—Скажите пожалуйста, а хорошие конфекты у вас имеются.
А.—Да, имеются. Вот эти конфекты очень хорошие.

A.―大連ニハ、オ菓子屋ガアリマスカ、ドーゾ云ツテ下サイ
B.―ハイ、大連ニハ非常ニ良イオ菓子屋ガアリマス
A.―其レハ何ト云ヒマスカ、其シテ其レハ何處ニアリマスカ
B.―其レハビクトリヤト云ヒマス、其レハ山縣通ト紀伊町ノ角ニアリマス
A.―ドーモ有難ウ
B.―ドーイタシマシテ
A.―オ宅ニパンガアリマスカ、ドーゾ云ツテ下サイ
B.―貴君ハ白パンカ黑パンカ何方ガ御入用デスカ
A.兩方二ポンドヅヽ下サイ
B.―ドーゾ幾ラデスカ
A.―全部デ二十二錢デス
B.―サアドーゾ
A.―ソレカラチヨコレートノオ菓子ガアリマスカ、ドーゾ云ツテ下サイ
B.―ハイ、ゴザイマス其レハ非常ニ良ロシユウゴザイマス

滿洲日報
經濟往來
臨時增刊
景氣轉換號
全產業測候所から景氣觀測の豫報が出た・明日は晴れだ!
本日發賣
景氣は何日・どう轉換するか?
この「?」を解明する一切の問題を蒐輯したのが本誌だ!
財界八ロメーター
レヴュー財界オンパレード
現代人氣者作家列傳
都會生活百面相
定價五十錢
日本評論社
凸版と銅版
綜合ヂャーナリズム講座
全知識層の生活戰線に送る最尖最銳の武器!
第一卷內容
發刊之辭
ヂャーナリズムは正に現代の無冠の王者である。政治、經濟、宗敎、敎育、社會――凡そ萬般の現代文化と生活とを報道し、規整し、統率し、更に戀愛にさへも金儲にさへも、ヂャーナリズムは深く深く喰入つてゐる。あらゆる方面に行詰つた現代生活を開拓する道は、第一に現代ヂャーナリズムの全體を知り盡すにある。宜なる哉、本講座がひと度その潑剌たる姿を現はすや、混沌たる斯界は忽ちこゝに綜合統一され全知識大衆は歡呼して壓倒的支持を寄せた。ヂャーナリストとその志望者は直ちに本講座を手にした。苟も筆を執らんとする者、苟も一枚の新聞、一册の書籍を讀まんとする者は、先づ本講座につけ! 綜合ヂャーナリズム講座こそ、正に全日本知識層の生活戰線に送る最尖最銳の武器である。
全日本の智的總動員!!
執筆者二百數十名
講座題目三百余項
本講座を斯く見よ
第一卷全國書店の店頭にあり
豫約募集
內外社
東京市京橋區
タカヂアスターゼ
見發氏吉讓峰高 士博學工 士博學藥
單に澱粉消化素のみならず蛋白、脂肪等の各消化素をも含み、消化酵素の寶庫とまで讃評せられ世界的聲價を博しつゝあり
(1) 消化不良に因する總ての胃腸疾患 (2) 無力性胃弱者 (3) 結核其他慢性病者、重病恢復期等苟も食慾を亢進せしめ、消化を佳良ならしめ、榮養の增進を欲する總ての場合に賞用せらる
各種 末、錠 包裝 呈進書明說
東京室町 三共株式會社 大連市山縣通一九三 株式會社三共藥品販賣所
胃腸に
其の三品 藥
最新刊
滿鐵職員錄
大阪屋號書店
滿書堂書籍部
印刷 滿日社印刷所

社說

中國國民黨の善後と共產黨

閻馮汪氏らが果して下野するや否や、また奉天側が如何の程度に南京側と協調して行けるや否や、その邊は今後の事實に徵するより外ないが、とにかく混亂の支那が曲りなりにも一種の統制を見るに至つたことは慶賀の外ないとして、さて蔣張氏らが國民黨の問題を如何に處置せんとするか、また國民黨中の極左派、共產黨に對し如何なる方針を採らんとするか、蔣張兩氏が近く北京において會見するに至らんとするに會し一言、注意を喚起せんとするものである。

奉天政權にありても然りであるが、今日の南京國民政府は孫文の三民主義を主義として構成せられてゐるものである。而して政府はその母體として單一政黨たる國民黨から生產せられてゐることになつてゐる。恰もロシアのソウイエト政權が第三インターナショナルを背景として生產せられた如く支那の國民政府なるものも國民黨を母體として政權を構成し國民黨の主義方針の下に政治政策を實行すべきことを理想としてゐるのであるが實際問題として支那の場合、果して如何の程度に國民黨と國民政府との間に因果關係があるであらうか甚だ疑はしいものがないでもないのである。現に國民黨といへば今日といへども汪精衛氏を首領とするものの如く蔣介石氏は單に國民政府の專制官といふやうな觀があり、その結果として先般來の反蔣聯盟といふやうなものが提起されたのではあるまいか。されば今日、若し張學良氏から國民黨の問題を建案するにおいては蔣介石氏は心情は張氏と同じく國民黨を彈壓することに大に贊成するであらうが表面上は國民黨の一員を以て任ぜざるを得ざるが如き矛盾の場面を展開するであらうとさへ推斷されてゐる程である。

それは兎も角として支那國民革命の理想と支那の現實とに立脚せんか、國民黨の問題が提起せられた場合、張學良氏は勿論、蔣介石氏としても相當、苦しき立場に立たしめられることを思はしめる。しかのみならず蔣氏らが右傾すればするほど、支那の實情に卽して獨斷專行を敢てすればするほど責任者としての政權側は益々右傾し、この政權に彈壓されるところの國民黨員は汪氏らを首めとして愈々左傾せざるを得なくなるべく結局、左右兩極端に對立するやうなことになり國民黨の存在を無意義ならしむるであらうことを思はしめるのである。これ支那の實情よりして全く已むを得ざるところとすべく、果して然りとせば吾人は寧ろ蔣介石氏に對し張學良氏と同一立場に立ち國民黨を以て母體として生產するものなりとの虛僞の法則から脫出せんことを要望するものなると同時に蔣張兩氏らが今日、共產黨と稱せられるところの地方不逞の徒を徹底的に彈壓せんことを希望するものである。

江西、湖南地方を根城として蜂起した共產軍なるものは如何なる關係によつて一時、跳梁を極めたものであるか、それは兎も角として、それが餘燼は容易に一掃し得ぬことを思はねばならぬ。機會さへあらば何時、勃然として長沙や九江や、または武漢の地を攪亂せぬとも限らぬ。殊に馮玉祥氏の勢力が再び起つ能はざるが如きに至らんか、赤露の魔手が如何なる方面から煽動し來らぬとも限らぬのである。すくなくとも目下、莫德惠對カラハンの露支正式會議に支那の政局の動きが如何に影響するかを思はゞ思ひ半ばに過ぐるものがあるであらうと思ふ。右は長江沿岸における蔣氏の繩張內のことであるが張學良氏の繩張內たる關島地方にあつても例によつて共產黨が跳梁し、わが內鮮人に向つて常にパルチザン的の事件を惹起しつゝあるは迷惑千萬といはねばならぬ。尤も間島の事件に關しては支那官憲の排外不法行動の多分に加味せらるることのあるのを見のがすことは出來ぬが、これを放任し置くが如きことあらんか結局盤根錯節をなして手のつけられぬことになることを覺悟せねばならぬのである。これらの意味において吾人は蔣張兩氏が徒らに戰勝的の甘酒に醉ふて脚下に問題の簇生しつゝあることを忘れざらんことを要求する。

三百萬石の買上と一億圓の融資要求

全國の大小地主が團結して農村の窮境打開運動

【東京特電十二日發】農村の窮迫は愈々小作人、小農階級から大小地主階級に迄波及して來たが今回の米價下落はますます地主階級の壓迫に轉じ公課を收めれば手取り何物も殘らぬ實情にありこれが

窮境打開 運動を起さむとする空氣は各方面に釀成しつゝあつたが愈々地主階級の大同團結の機運熟し先づ大日本地主會を中心に農村振興會、東北十縣農政團體聯合會、月曜會（全國多額納稅者の團體）が中心となつて全國に分散する大小の地方地主團體を結成することになり來る十一月廿日から廿五日まで東京において常務委員會、趣意書及び會則などの具體的事項を規定し來春迄に全國農政團體聯合會なる名稱にて發會式を舉行することになつた、これがため

農村振興 會の原、白石兩氏等は十一日濱口首相、町田農相、政民兩黨本部などを訪ひそれぞれ陳情した、その主張する處は地主階級は小作問題にて小作組合方面から猛烈なる壓迫を蒙むり更に今や米を始め繭、蔬菜、木材、其他一般農產物の急激な暴落によつて極度の疲弊に陷り地價の下落甚だしきにも拘はらず租稅公課は好況時代と何等變る處なく土地を賣拂はむとしても買手なき有樣で全國に亘り倒產する地主尠からず、明治十七年頃の農產物及び地價の大暴落と大中農沒落と一見相似たるものがあつて殊に農村における中堅農民の沒落は國家的に見て容易ならぬものがある、この際全國的に地主階級の鞏固なる團結を以て立たなければ沒落の他なしといふのであつて先づ當百圓萬石の買上げを斷行し更に一億圓し米價問題に對しては卽時三の激見當の低資を融通して米價の落を防止されたいといふのである、この他小作法、利題、地租輕減問題等地主の協同害に基き頗る強硬なる態度にて立たむとするものであると

議會召集の要求に

政友幹部に相當異論

「否認した政府に要求は不合理」

有志代議士會で運動繼續か

【東京十一日發電通】時局匡救のため臨時議會開會要求問題に關し政友會では來る十四日の定例幹部會に於て黨の方針を協議する事となつたが、黨として政府にこれを要求する事については幹部間に於ても相當異論がある、卽ちその理由とするところは左の如くである

我黨は既に先月十六日の臨時大會に於て政府に時局匡救の能力なしとしてその存立を否認する決議をなし爾來地方大會においても倒閣決議をなして局面打開を期してゐる、既に存立を否認してゐる內閣に對し臨時議會召集の要求をなすは不合理で、斯る無為無策の內閣に對して時局匡救の要求をなすよりも寧ろその倒潰を圖るが時局匡救の目的に叶ふ

と云ふにあつて幹部としては有志代議士會の決議の趣旨は諒とするも黨としての行動開始は差し控へる意嚮の樣であるから結局、この問題は有志代議士會の運動として繼續される模樣である

本年の對外貿易不振の原因

入超二億圓を豫想

【東京特電十二日發】本年の對外貿易狀態は一、二の兩月は著るしく好轉したがその後三月には早くも惡化し四月は稍好轉したが五月以來またまた全面的に惡步調に入り

下半期 出超時代に入るや昨年に比し頗る惡化してこれがため年初以來十月上旬までの累計に至つては昨年同期間に比し遂に八百餘萬圓の入超增加となつてゐる、卽ちかく不振狀態に陷つた原因は一、昨年上期に比し日本の物價は崩落したが地方爲替の回復と物價の崩落の結果國際的にわが物價が割高になつて來たこと

二、昨年下半期の貿易好轉は金解禁見越しのための見越急ぎに過ぎず本年はそれがなきこと

三、本年上半期にはセメントその他海外に對するダンピングによつて國內の滯貨を減らさうとしたものでこの意味での輸出は振つたがその後高率操短と滯貨の漸減によつて減つて來たこと

四、支那市場に對する英、獨の競爭が加はつて來たこと

なども爭はれぬ事實である、故に今後も每月貿易尻が惡化することの避けられないことは當然で十月は恐らく二千萬圓餘の出超になるであらうが棉花の輸入が極度に遲れてゐるから十一、十二の兩月では恐らく若干の入超になるであらうと觀られてゐる、假りに十月中の出超と十一、十二兩月の入超とが同額であると假定すれば去る九月末までの一月以降

入超累計 は一億四千一百萬圓であるからそれに本年中の朝鮮、臺灣の入超額を九千萬圓と見て加へるとこの兩地を含む本年の全入超額は約二億三千萬圓と見做される譯である、他方貿易外のわ…

支那の前途

奉天派出兵の目的 西北軍今後の行動

〈上〉 一記者

奉天軍關內出兵、北方政府の太原引揚げ等に次いで西北軍の總退却、南北戰の大詰めと、約八ケ月に亘つて戰鬪狀態に在つた支那時局は目まぐるしくも慌しいうちに急激な變轉を見せて漸く表面は一段落を告げんとするかの觀を呈して來たが、鄭州を引揚げた西北軍今後の態度、これと奉天軍との關係、閻錫山氏始め山西軍の善後問題、更にこれ等の諸關係と蔣介石氏今後の態度等、差し當り考へ得られる諸々の情勢のみについてみても今後の支那時局は從來よりも更に複雜化し更に大なる不安定な足場の上を進みつゝあることが看取される

◇

時には南軍を壓迫してゐた北軍が、かくもあつけなき敗退に終つたのは奉天軍が中央に加擔して關內に出兵した結果とされてゐるのであるが、奉天軍をしてここに出でしめたものは何としても山西軍の濟南における敗退であつた、山西は濟南において殆どその主力の大半を失ひ爾後山西派として存立することは困難であらうとまで一般に考へられた、勿論奉天派は山西派に對してその危急を救つてやらればならぬ情誼を有ちもしなければ義理合ひも有たぬが、山西派が潰滅して南京政府の勢力が京津地方から近くは山海關にまでも延びるか、西北軍の勢力が京津地方に北進して來るかすることは奉天派にとつて重大事である、奉天派にとつて西北軍は犬猿もたゞならざるところ、更に南京との關係に在りては所謂國民革命軍の北京占領以來易幟問題その他でさんざ押へつけられた苦い經驗を有する譯である、こゝにおいて奉天軍としては何とかして山西派を存置せしめるか、さもなくばせめて北京天津を自派の掌中に納めて對南關係において有力な發言權を留保せんとすることが最も緊要事となつて來た、卽ち山西軍の失敗が奉天派をして關內に出兵せざるを得ざるに至らしめたのである、…

◇

次は西北軍である、西北軍は…

徐ろに再舉を期す 山西に立籠つた三巨頭

若し閻、馮軍掃滅の命下らば奉天派の立場は可成り困難

【北京十一日發電通】閻、馮、汪三巨頭の下野外遊が一般に傳へられたが事實はこれに反し三巨頭の合意更に鞏固となり、山西に立て籠ろに再舉を期すべき事態明白となつて來た、今後の時局は西一省に壓された反蔣勢力に對して南京及び奉天側が如何に對…

總退却の山西軍

戰前より寧ろ有利？

【北京十一日發電通】確報によれば西北軍の總退却は中央側と…

南北滿洲農作物增收

小麥丈は不作

本年は全國的に降雨が適當であつたので日本內地は米の大豐作で、滿洲も同樣南北地方を通じて農作物の出來榮は平年作より一割位の增收だらう、尤も通遼方面は全般的に洪水のために被害を受けたので多少收穫高に影響し開原、鐵嶺兩縣下も降雨が適順でなかつたので九分作位に落ちたが、南滿一帶及び北滿方面は大豐作である、殊に大豆は好成績で改良大豆の如きも昨年は千五百車であつたものが、本年は四千車以上出る見込みで既に九月中から走りを出してゐる、北滿の小麥はこれと反對に慨して成績不良でやゝ減收の見込みであるが、該品は米國市場に於けるソウエートロシヤのダンピングに禍ひされ米國品やカナダ品がどしどし輸入される有樣で、本年は南滿方面は開原以南は外品に風靡されやうとのことである

鐵關稅の引上論 漸く有力となる

當業者の要求を至當とし商工省當局が支持

【東京特電十二日發】大藏省の關稅調査幹事會は最近諮問事項中解決未了の鐵及び白熱電燈線に關する審議を行ひつゝあり鐵關稅については一般當業者の贊否の意も徵しつゝあるが、從來この問題は製鐵業者と鐵工業者の利害衝突及び同事業に對する

國策上の 關係など極めて複雜した事情の下にあり大藏省の一部には滿鐵並に本溪湖煤鐵公司に對する補給金の關係と井上藏相の年來主張とに鑑み結局鐵關稅引上げは不能に終るべしとの觀測が有力に行はれてゐるが、然るに最近に至り一般經濟界の推移に對應して政府は從來の態度を改めて當業者の要望を容れ關稅引上げに比例して補給金の增額を必要とする譯であるが近年國家財政の窮乏と財源頗る逼迫せる折柄であり井上藏相從來の自由通商主義に鑑みるも到底實現覺束なき問題とされてゐたのである

然るに金解禁後の財界の推移は井上藏相が極めて樂觀して事業界に對しても人爲的救濟策を一切不必要とせる當初の豫想を

全く裏切 り產業界の各方面には恐慌狀態を現出し到底放任を許さざるに至つたので先づ緣價補償法の發動においては藏相は從來の態度を變へしたが更に歲末接近につれて金融難に基く事業界の不安を傳へられるや興銀を起たせてこれが救濟に當らしむる外日銀の金利引下げなど矢繼早に救濟手段に出づるに至つたことは井上藏相が如何に財界の推移を觀取するに至つたかの極めて有力な證左であるから關稅についても從來とは意見を異にする所あるべく特に商工省內には有力な

引上論が 既に存在してゐるのであるから或は當業者の要求が容れられることにならうも知れぬといはれてゐる

寄託全權委任狀

十一日發送さる

【東京十一日發電通】倫敦條約批准書寄託の全權委任狀は…

何成濬氏漢口に引揚ぐ

京綏線の閻軍退路を斷たる

【南京特電十二日發】昨十二日午後一時四十分何成濬氏は鄭州飛行機で第九師長蔣鼎文氏と共に漢口に到着して…京漢線上の中央軍主力は近く洛陽に引返す豫定で…

殉職警察官招魂祭

十一日旅順で莊嚴に執行

關東廳殉職警察官招魂祭は十一日午前九時から旅順新市街表忠碑前においていと莊嚴に執行された、祭典は太田關東長官始め旅順官民多數參列し、祭壇には七十七名に及ぶ殉職警察官の靈を祀り、生菓等の供物を供へて、出雲大社教分所飯塚神官の修祓、降神に嚴かなる降神の儀式、祝詞奏上、次いで中谷祭典委員長の祭文を朗讀してのち、…

財部大將は前官禮遇

御沙汰を賜ふ

シンプソン氏重態

柔劍道ともに旅順署優勝

滿洲最初の對署試合

わが紡績業者が支那內地へ進出

各種の有利條件に

東鐵、滿鐵の聯絡貨物

近く打合を行ふ

屎尿賣買契約解除決せず

日本石油滅配か

小柳領事代理歸朝

三名を生埋めの現場

十一日發掘作業中をうつす

米國一流選手を招聘　日本で水上競技

愈よ明年八月、神宮プールに於て　世界の視聽を集めん

【東京十一日發電通】日本水上競技聯盟では十一日理事會を開き兩三年來の懸案たる日米對抗水上競技大會開催の件につき協議の結果明年五月末までには明治神宮プールに觀覽席を含むコンクリートスタンド（收容一萬四千五百名）並にプールの照明裝置等が完成するからこれが完成記念として日米水上大會を開催することゝし、期日は全米國一流選手を集めるに最も都合のよい全米選手權大會直後の八月上旬、招聘選手はコジャッククラブ等を含む自由型短距離、長距離、平泳、背泳の各一流選手三名づゝ合計約十二名と云ふことに決定した、よつて水上競技聯盟は末弘會長の名を以て十一日米國の運動競技の代表統轄團體たるエイ・エイ・ユーに對し正式挑戰狀を發送した、國際オリムピック大會を翌年に控へ世界の二大水泳國たる日米兩國の對抗競技は世界運動界注目の焦點となるであらう

19―0　工專大に振ひ　英艦ゼロ敗す

十一日のラグビー戰

大連碇泊中の英國巡洋艦カンバーランド號對工專ラグビー戰は十一日午後四時半より工專グラウンドに於て星名（主審）カーツライト、篠田（線審）三氏審判の下に開始されたが、工專よく敵の虚をついてしばしばチャンスを作り十九對〇で勝つ

工專19 {13―0, 6―0} 0カ號

前半　カ號トスに勝ち風上へ（西側）に陣し工專キックオフ四分工專右二十五ヤード內に攻め入り反則を獲て藤島プレースキック、ゴール成つて先取▲六分カ號敵二十五碼內に攻入つたが松木の好キックにまたも盛返され、その後兩軍ハーフ、ウエイラインを中心に競合ふ後十五分カ號FWのドリブルで右フラッグ附近まで攻入り好機と見えたがドロップアウト、カ號後工專左に壓迫す、工專攻守よく敵の虚をつき二十五分盛返へし右フラッグ附近のルーズの球を藤島得てトライゴール成らず▲後間際ノート、トライでハーフ、タイムとなる

後半　兩軍好守好防好試合を續ける十分漸く工專右二十五碼內に入つたがFWドリブルでも取り返へされたがまたも二十五碼內に攻入りルーズの球を鐵田得て左フラッグ寄りにトライゴール成らず▲廿二分工專またも左二十五碼附近ラインアップの球を中村科敵軍を巧みにすかして左ポスト、ボール寄りにトライ藤島のゴール成る▲二十八分工專左フラッグ附近のルーズの球を……西山繩田鹿毛と渡つてまたもトライ、ゴール成る▲後カ號力闘したがそのまゝタイムアップとなる

（カ號）
FW　カットウ、ツネトヨ、タケンシ、メンエン、ファンボット、ケンネル、バウエット、アポー、ジイー、ジイター、ジ……
HB　ハイントン、プワイウス、……
TB　ナイクロッツ、スドラッシ、……
FB　シ……オーブリエン

（工專）
FW　同本崎田村、宅山田毛田島井木
HB　龍中松宮藤中泉三西繩
TB　鹿岩藤堀松

露國を稱讚

タゴール翁

【ニューヨーク十日發電通】昨年米國移民官の非禮な上陸拒絕に憤慨して米國及びカナダに於ける有閑哲學の講演旅行を斷り一問題を起した印度の詩聖タゴール翁は、九日露國からの歸途ブレーメン號でニューヨークに到着した、翁はソウエート露國の新制度を口を極めて稱讚し次の如く語つた
露國が單に無智の勞働者の手に移つて了つたと見るのは大なる誤解である、芝居やオペラは再び盛んに活動し始めてゐる、露國の下層階級は始めてこれ等の藝術によつて彼等の生活を向上せしめる事が出來るやうになつた、インドと露國は十年前までは殆ど同じ水準にあつた、しかし露國はこの十年間に非常な速力で教育を普及せしめる事が出來た、これは大なる功績といはねばならぬ

專門學校の―　入學檢定試驗

明年から六都市で施行

【東京十一日發電通】文部省で毎年春秋二回施行してゐる專檢即ち專門學校入學檢定試驗は從來東京で行はれたものであるが、最近受驗者の激増せると受驗者が概ね苦學生であることに鑑みその負擔を輕くする意味に於て特に明年度からは東京、大阪、京都、名古屋、福岡、仙臺の六都市に於て施行することゝなり文部省では目下その準備を進めてゐる

7A―2で　早大先勝

對明大一回戰

【東京十一日發電通】早明野球第一回戰は十一日午後二時半明大の先攻にて開始左の如く七A對二にて早大一勝す、閉戰四時二十分、バッテリー明大（中津川、戸來、八十川、井野川）早大（多賀、清水、伊達）

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
明大	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2
早大	1	0	5	0	0	0	0	1	0A	7A

重砲兵大隊演習地へ出發

旅順重砲兵大隊は十二日午後七時旅順驛發臨時列車にて奧地演習地に向け出發するが一個中隊は鞍山附近へ一個中隊は鐵嶺附近に下車獨立守備隊管下に入り各個に演習するが大隊の幹部連は鞍山に下車する由で歸隊は二十一日の豫定

觀衆熱狂の　體育ボール大會

大成功裡に終る　きのふ午後の戰績

體育デーの大連市役所主催の體育ボール大會は十二日午後よりも引續き大連運動場に於て擧行されたが觀衆も續々つめかけてスタンドを埋めゲームもまた各ゲームとも白熱化し觀衆大喜び、午後三時四十分競技を終了し別表三戰三勝の各チームに永井助役より優勝盃を授與し、永井助役の發聲で萬歲を三唱し第一回催しとして盛會裡に終了した、午後の戰績左の如くである

第二回戰

◇一般男子之部
第一中職員團 2 {21―13, 21―17} 0 第一埠頭
滿鐵經理部 2 {21―20, 21―15} 0 瓦斯
◇一般女子之部
婦人協會 2 {19―21, 21―18, 21―20} 0 理研女
◇學生男子之部
二中A組 2 {21―18, 21―17} 0 大商
二中B組 2 {21―18, 21―17} 0 商工A
工專 2 {21―16, 21―7} 0 一中B
一中A 2 {15―21, 21―17, 21―15} 1 商工B
彌生A 2 {21―8, 21―17} 0 彌生E
彌生B 2 {21―20, 21―13} 0 彌生D
羽衣B 2 {20―21, 21―14, 21―12} 1 羽衣A

第三回戰

滿鐵經理 2 {21―14, 21―19} 0 用度
二中職員 2 {21―6, 20―21, 21―17} 1 彌生職員
日本橋職員 2 {21―13, 20―21, 21―18} 1 大廣場
二中職員 2 {12―21, 21―15, 21―15} 1 大連醫院
滿鐵販賣 2 {21―12, 21―18} 0 滿鐵販賣
黃塵クラブ 2 {21―14, 21―12} 0 線路會
理研 2 {8―21, 21―16, 21―8} 1 滿鐵審査
◇一般女子之部
婦人協會 2 {21―15, 14―21, 21―16} 1 理研女
◇男子學生之部
大商 2 {21―9, 21―19} 0 一中B
二中 2 {21―16, 19―21, 21―19} 1 一中A
二中B 2 {21―15, 21―7} 0 工專
◇女子學生之部
彌生A 2 {21―17, 21―18} 0 彌生B
彌生E 2 {21―14, 21―11} 0 彌生D

全競技の成績表

三戰三勝　第二埠頭、鐵道部審査、二中職員、二中A組、彌生高女A組、婦人協會

三戰二勝　理學試驗所、彌生高女職員、一中職員、經理部、大連醫院、滿鐵販賣部、黃塵クラブ、大連商業工專、彌生高女B組、大連商業工專、第二中B組、羽衣B組

三戰一勝　日本橋小學職員、大廣場クラブ、第一埠頭、滿鐵用度、線路會、滿鐵審査、第一中學B組、彌生高女D組、一中A組、羽衣C組

三戰三敗　商工A組、理學試女子部、羽衣A組

臼田選手勝つ

比島選手に

【ホノル、十八日發電通】來布中の日本拳鬪選手臼田金太郎氏は十日比島選手コハラリオンをノックアウトして勝つた、臼田氏は今月末もう一回試合を試みた後十一月七日ホノルル發歸朝する

思ひのまゝ　婿や嫁を撰ばせ

新時代の理想的夫婦を作る　『由緣俱樂部』東京に生る

【東京十一日發電通】古い因襲の殻を破つて新時代の理想的夫婦を結合しやうといふので藤田合名會社長藤田輝雄氏の肝煎りで青木信光子、矢吹省三男、細原俊丸男、吉岡彌生女史等各方面の名士を網羅し「由緣俱樂部」が出來た、人生の重大事縁組の選定が親戚若くは知人といふやうな極めて狹い範圍だけが唯一の頼りとして不充分ながらその間で選擇されてゐるのは餘りに無關心ではあるまいかといふのが由緣俱樂部出現の動機で俱樂部の役目を一切無料で出雲の神の役目を務める、依賴人は履歷書、趣味、性質、職業、收入、財產、健康（へ性病の有無）血統を記入して寫眞を添へて俱樂部に依賴するゝ、俱樂部は、これをカード式に記入して保存しこのカードによつて俱樂部員合議のうへ配分を決する、カードの結合を決したうへは双方の意思に任せることになつてゐる、俱樂部の妙味は廣い範圍から自由自在に選擇して理想的の機會が出來るところにある

旅順戰跡リレー參加團體

來る十七日神嘗祭當日擧行さる旅順戰跡リレー參加團體は旅順一中A、B、C組、大連商業、大連二中、旅順二中A、B組、旅順師範、大連遞友クラブ、大連滿電、綠クラブ、旅順實業團、大連土木課A、B組、關東廳、工大、滿鐵の十九團體と決定した、尚本年は長官カップ、旅順市盃が優勝組に贈呈される

煖房器具展覽會

今日限り（朝九時から午後五時迄）

東公園町本社舊館において
主催　滿洲日報社

大連市民體育ボール大會

土砂崩壞して　三名生埋め

二名窒死し、一名は漸く助かる　十一日敷島廣場の騷ぎ

十一日午後四時四十分ごろ市內敷島廣場五品取引所橫の滿電特別高壓ケーブル線地下工事場において長さ十六米突、幅一米突、深さ約十米突にわたる約二坪ばかりの土砂が突然崩れ落ちた爲め穴の中で作業中であつた三名が逃げ遲れて生埋となつた事件があつた、この工事を請負ひの西村組では直に發掘作業にかゝり漸く窒息即死せる住所不明の王金義（三）徐某並に山の息の山東生れ寺見溝大欄北居住の岳喜金（二）を掘り出したので岳は直に監部通り仁和醫院に擔ぎ込み應急手當を施した結果、蘇生したが全快までに二三週間を要する骨盤打撲傷を負つてゐた、同所一帶は元來地盤が脆弱なところで不可抗力とみられてゐるが、場所柄彌次馬が黑山のやうにたかり一時は非常な騷ぎであつた、この騷ぎに直接責任者たる西村組では
あの邊は埋立地のやうに見受けられ、そこに下水工事を施したために、上層部の壓力に堪へ兼ねて自然に崩壞したのですが、まさかこんなことにならうとは思ひませんでした、被害者には實に氣の毒なことをしました

不景氣を知らぬ　サービスガール

ますく増える許り　が大部分は男に苦勞

無氣味な程深刻化して行く不況風に大連の昨今は不夜城を誇る遊廓料理屋街も歡樂境として尖端を行くカフエー街も何れも四苦八苦の經營難を訴へ遣り繰り算段に神經を痛めてゐるが、一方その不況の反映として白粉と媚を賣るサービス女が驚く程殖えて來た、即ち大連署の調べによると管內の料理店、待合、貸座敷に巣喰ふ仲居が約四百名、カフエー、そば屋を足溜りとする女給、女中が約四百八十名合計八百八十名の多數に上り昨年の同期に比し約二百名の激増である、署管內人口六萬人として六十八人強に一名の割合である、而してこれ等多くのサービス女は客よりのチップを唯一の全收入とし生活戰線への進出を試みてゐるが、一體彼れ等の收入は何の位のものか、一人當り一日平均二圓とすると八百八十名で一千七百六十圓である、不景氣風に怯えてゐる經營者に比較し彼等仲居や女給、女中てゐることか、無理のない話である八百八十名の中男のため苦勞してゐるもの五百九十四名、彼等一日の收入一千七百六十圓の內一千百七十四圓は彼等もまた男のために消費してゐるのである、彼等の處がまた世の中には彼等の上手を行つて仲居や女給、女中を飼いて儲けたお金を手際好く捲き上げて行く男が尠くない、彼等の三分の二は亭主や懶夫や戀人を持つて男から貢ふ一方にはこれ等の人を養ひ且つ貢いでゐるのである

滿洲から二名　帝展パス

洋畫入選發表

【東京十一日發電通】帝展第二部洋畫の入選は十一日發表されたが搬入總數四千三百八十五點に對し入選は二百六十點、そのうち油繪二百三十六點、水彩畫十四點、版畫十點で、昨年よりは十一點の減少、このうち初入選は六十六名の六十六點である、なほ帝展洋畫に入選した關東州關係左の如し

ばらばんを持てる女　佐藤功
南歐の古い村　福田義之助

昨年よりも　全體に進步

中澤審査員談

【東京十二日發電通】十一日帝展洋畫入選發表後審査員中澤弘光氏は語る
一般に大作が多かつた、昨年よりも全體に進步してゐるが、作風概して穩健で二、三點シュールレアリズムの物もあつたが出來榮え良くなかつた、今年は女流も相當活躍してゐる

福原美術院長　辭意を飜すか

【東京十一日發電通】京都側出品搬入拒絕問題は九日解決したが福原帝國美術院長は責任を感じ辭意を漏らすに至つたので、十一日文部省の赤間專門學務局長は福原氏を訪ひ來年は恰も帝展の二十五周年に當るをもつて是非それまで留任されたしと極力慰留するところあり、結局同氏も辭意を飜へすものと見られてゐる

日新街の火事

十一日午後八時五十分ごろ市內日新街七番地支那飯店李福出方より發火し同家を全燒し續いて隣接家屋四戶を類燒し早速驅け付けた大連消防署の活動により同九時廿分鎭火した、小崗子署に於て原因取調中であるが炊事場から失火したものらしいと

外國印畫展

滿洲寫眞聯盟後援の外國寫眞大家力作印畫展覽會は十三、十四兩日滿鐵社員俱樂部に於て開催されるが、印畫はいづれも日本國產印畫紙を使用したもので、ドイツに於ける知名の寫眞大家ニコラベルシャイトをはじめ獵米の寫眞家を網羅し印畫總數七十數點に達してゐる外國知名寫眞家の作品のみを集めた寫眞展覽會は大連に於て最初の催しなので同好者の間に大いに期待せられてゐる

滿日各地版

撫順

馬賊頭目等を支那側に引渡す
流石少しも惡びれず

撫順背後地を完全に騒がした滿洲馬賊の大頭目天下好、双全以下計七名は取調べ修了と共に十一日午前十一時四十分押收の兇器機關銃長銃その他と共にトラックに積込み倉田司法主任、中川刑事附添ひ支那側に送致したがこの有名な馬賊を見んものと撫順署前は黒山を築き電車も爲に通行止めを見た、流石は大頭目だけあり天下好等は必然死刑を覺悟し乍ら聊かも悄げたる風なく悠然と周圍を睥睨なかでも機關銃の射手楊玉春は一同整列寫眞を撮る時「氣を付けッ」と軍隊式の號令を掛け見物人を笑はしてゐた（寫眞は前列向って左から三番目、大頭目天下好、中央双全）

經理軍遂に優勝す
撫順野球大會

本年最終のゲームの事とて好球連の興味を剃が上にも唆ってゐた全撫順野球大會決勝戰は十米の北風飛ぶ永安臺球場に於て十一日午後一時から連勝の經理對東郷に依つて行はれた、バッテリー東郷黒木前田、經理岡田、古森、野原（球）成松、渡邊（壘）三氏審判裡に東郷先攻にて開始されたが經理軍の打撃大いに振ひ安打十一本（内三壘打三）をかつ飛ばし一回三、二回四、四回五、八回二、計十四點を得たるに對し東郷軍滿多野、前田善く奮闘ぜるも岡田の球に牛耳られ安打僅に二本一回一點、二回二點、三回三點漸く六點を得たるのみで十四Ａ對六にて經理優勝樂

（優勝）三時十分メンバー次の如し
（東郷）柴岡滿前顯松黒神福隈　本田野田江田木松久田　多ケ
8　3　6　2　7　54　1　95　9　49
里田田　田原口口石森野
（經理）今村高森岡荻谷井大古吉
54　89　6　6　1　78　6　3　97　2　43

双十節祝賀

中國國慶記念日たる双十節式典は日支官民多數列席裡に撫順縣廳衙門内前庭で盛大に行はれた、午後

秋季招魂祭

撫順に於ける秋季招魂祭は十一日午前十時より東公園表忠碑前で佛式にて行はれた、この日參列者頗る多く僧侶の讀經、燒香裡に式を閉じ是より劍道、柔道の餘興あり極めて盛況であった

思想講演會

目下來滿中の國民思想研究會功刀義興氏の講演會は今十三日午後六時半より永安小學校にて開催氏の今回の旅行は親く滿洲を内地青年に事實そのまゝの紹介、傍ら在滿邦人の慰問を兼ねたものであると

久米氏一行來撫

昭和文壇一方の雄久米正雄氏及び次郎の兩氏は目下北滿視察中であるが十四日十一時着列車にて來撫同日十八時四十分列車にて歸連豫定

奉天

臨時種痘の日割
來る廿七日から十日間

奉天署では來る廿七日から十日間左の如き日割で臨時種痘を施行すると

十月廿七日、十一月四日（直轄、濱速通、加茂町、隅田町各派出所管内）奉天署に於て
十月廿八日、十一月五日（奉天驛宮島町、千代田通、日吉町、芳野通各派出所管内）同上
十月廿九日、十一月六日（紅梅町平安通、青葉町、末廣町、渾河稔樹臺各派出所管内）彌生小學校に於て
十月卅日、十一月七日（文官屯、虎石臺、新城子各派出所管内）虎石臺驛構内に於て
十月卅一日、十一月八日（蘇家屯吳家屯、陳相屯、姚千戸屯各派出所管内）蘇家屯滿鐵倶樂部に於て
尚毎日午後一時から四時まで施行する由

列車に投石

十日午後四時五十分頃鷄冠山行二百一列車が安奉線蛤蟆塘へ五龍背間を進行中何者かゞ投石し窓硝子二枚を破壞した事件あり目下嚴探中であるが附近部落民の仕業らしいと

硫酸で火傷

市内濱速通藥商鶴原文雄長男秀雄（八）同十番地瀧口某長男一夫（九）同看板製造業山下某の三名が九日午後頃鶴原分局前で遊戯中入口に置いてあった硫酸七十ポンド入りのものを過って破壞し硫酸が流れ出したので一夫は十日間、その他も數日間の火傷を負ふたこの事件は家の不注意と判り一夫及び秀雄の治療費全部を支拂ふことに示談解決した

虚僞の訴へ

十日午後三時頃江島町某店員森濤一（二〇）假名は主人の金を紛失したのに氣付きその處置を考へた揚句奉天神社西側附近で四人組の强盜に襲はれ現金を

十一日の未明鞍山で衝突
步兵中隊奮戰して二十聯隊を盛に追擊

鞍山

町のニュース

氣温遂に零下

長春

腸チフス蔓延に
各種豫防法を勵行

防火宣傳
十一日行はる

村上氏講演

赤ちゃん審査成績

地方事務所チーム長養遠征

兎の空中旅行

牛島氏夫人の訃

國境雜信

驅逐隊拔錨

開原

兒童愛護デー
市中を旅行列
愛護の歌を高唱して

小野中隊長退院

安東

鎭江山の大標識
愈よ近く建設に決定

四平街

輸入組合の上棟式
盛大に擧行

强健賞

瓦房店

增築倶樂部のコケラ落し

遼陽

兒童と家庭の座談會

旅順

全滿記錄大會
……第四日目の成績

白玉山小祭

野球大會決勝戰

鳳凰城

新義州小學生の紅葉狩

本溪湖

國慶記念日
大變賑つた

井上氏の精神講話

警察官招魂祭

海の唄（八一）

滿日柳壇募集

滿日俳壇募集規定